

大学番号 私立80

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 通信教育の開設

注1

認可

創価大学 文学部 人間学科 (通信教育課程)

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人創価大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名

フクフチョウ カチョウ オザワ シュン
副部長・課長 小澤 潤

電話番号

042-691-3451

(夜間)

042-691-3451

e-mail

ozawa@soka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発行する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

<人間学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人創価大学

(2) 大学名

創価大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒192-8577

東京都八王子市丹木町I丁目236番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	タシロ ヤスノリ 田代 康則 〈平成16年4月〉		
学長	ハバ ヨシヒサ 馬場 善久 〈平成25年4月〉		
学部長	アサヤマ リュウイチ 浅山 龍一 〈平成26年4月〉		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 人間学科 学士（文学）	文学関係	4年	750人	3年次 100人	3,200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	750 () []	750 () []	750 () []	750 () []	750 (100) []	750 () []	750 (100) []	750 () []	0.34 倍	0.34 倍	
志願者数	() []	() []	600 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	189 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	211 (415) (-) [] []	- (-) (-) [] []	159 (230) (-) [] []	- (-) (-) [] []			
受験者数	() []	() []	592 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	185 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	211 (415) (-) [] []	- (-) (-) [] []	156 (228) (-) [] []	- (-) (-) [] []			
合格者数	() []	() []	592 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	185 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	166 (348) (-) [] []	- (-) (-) [] []	156 (227) (-) [] []	- (-) (-) [] []			
B 入学者数	() []	() []	559 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	169 (-) (-) [] []	- (-) (-) [] []	162 (345) (-) [] []	- (-) (-) [] []	153 (225) (-) [] []	- (-) (-) [] []			
入学定員超過率 B/A			0.74		0.22		0.21		0.2				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	559 [-] (-)	— [-] (-)	169 [-] (-)	— [-] (-)	162 [-] (-)	— [-] (-)	153 [-] (-)	— [-] (-)	
2年次	/		— [-] (-)	— [-] (-)	546 [-] (-)	— [-] (-)	203 [-] (-)	— [-] (-)	231 [-] (-)	— [-] (-)	
3年次			/		— [-] (-)	— [-] (-)	823 [-] (-)	— [-] (-)	408 [-] (-)	— [-] (-)	
4年次					/		— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	— [-] (-)	802 [-] (-)
計			[] ()	[-] (-)			559 [-] (-)	715 [-] (-)	1,188 [-] (-)	1,594 [-] (-)	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	559 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	715 人	47 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	47 人	0 人	健康上の理由(8人)、経済的理由(3人)、勤務上の理由(2人)、家庭の都合(3人)、進路変更(4人)、その他・不明(27人)
			令和元年度	人	人	
令和2年度	1,188 人	64 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	48 人	0 人	健康上の理由(7人)、経済的理由(4人)、勤務上の理由(2人)、家庭の都合(1人)、進路変更(7人)、学習意欲の低下(2人)、その他・不明(25人)
			令和元年度	16 人	0 人	健康上の理由(1人)、経済的理由(3人)、進路変更(4人)、その他・不明(8人)
			令和2年度	人	人	
令和3年度	1,594 人	100 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	35 人	0 人	学費未納(15人)、健康上の理由(7人)、経済的理由(4人)、勤務上の理由(3人)、家庭の都合(2人)、進路変更(2人)、その他・不明(2人)
			令和元年度	23 人	0 人	学費未納(14人)、健康上の理由(3人)、経済的理由(2人)、勤務上の理由(2人)、その他・不明(2人)
			令和2年度	42 人	0 人	学費未納(16人)、健康上の理由(1人)、経済的理由(3人)、勤務上の理由(3人)、家庭の都合(4人)、進路変更(3人)、学習意欲の低下(2人)、その他・不明(10人)
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		211 人		111 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{559} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{47}{715} = \boxed{6.57} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{64}{1188} = \boxed{5.38} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{100}{1594} = \boxed{6.27} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部 人間学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	大学科目	人間教育論	1	2		4						8
		創価教育論	1	2		1		1				7
		自立学習入門	1	2		1						10
	(英語科目)	英語ⅠA	1	2		1						2
		英語ⅠB	1	2		1						8
		英語ⅡA	2	2								2
		英語ⅡB	2	2								5
	言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2	2								6
		英会話Ⅱ	2	2								6
		ドイツ語A	2	2		1						1
		ドイツ語B	2	2		1						1
		フランス語A	2	2								2
		フランス語B	2	2								2
		中国語Ⅰ	2	2		1						2
		中国語Ⅱ	2	2		1						2
		スペイン語A	2	2		1						1
		スペイン語B	2	2		1						1
	ハンブルⅠ	2	2								3	
	ハンブルⅡ	2	2								4	
	(健康・体育科目)	体育講義B	1	2								2
		体育講義C	1	2								1
	(人文分野・思想科目)	文学A	1	2								1
		文学B	1	2			1					
		哲学	1	4				1				1
		音楽	2	4								2
		美術	2	4								2
		倫理学	2	4			1					1
(社会・文化分野・生活科目)	歴史	2	4		1						2	
	法学概説	1	2								1	
	日本国憲法	1	2								2	
	経済学	1	4								3	
	経営学入門	1	4								1	
	心理学	1	4								3	
	社会学Ⅰ	2	2								2	
社会学Ⅱ	2	2			1					1		
政治学	2	4								2		
教育学	2	2								2		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	大学科目	人間教育論	1	2		4						8
		創価教育論	1	2								5
		自立学習入門	1	2					1			10
	(英語科目)	英語ⅠA	1	2		1						2
		英語ⅠB	1	2		1						7
		英語ⅡA	2	2								2
		英語ⅡB	2	2								3
	言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2	2								4
		英会話Ⅱ	2	2								2
		ドイツ語A	2	2		1						1
		ドイツ語B	2	2		1						1
		フランス語A	2	2								2
		フランス語B	2	2								2
		中国語Ⅰ	2	2		1						2
		中国語Ⅱ	2	2		1						1
		スペイン語A	2	2		1						1
		スペイン語B	2	2		1						1
	ハンブルⅠ	2	2								3	
	ハンブルⅡ	2	2								2	
	(健康・体育科目)	体育講義B	1	2								1
		体育講義C	1	2								1
	(人文分野・思想科目)	文学A	1	2								2
		文学B	1	2			1					
		哲学	1	4					1			1
		音楽	2	4								2
		美術	2	4								2
		倫理学	2	4			1					1
(社会・文化分野・生活科目)	歴史	2	4								2	
	法学概説	1	2								1	
	日本国憲法	1	2								2	
	経済学	1	4								3	
	経営学入門	1	4								1	
	心理学	1	4								3	
	社会学Ⅰ	2	2								2	
社会学Ⅱ	2	2						1		1		
政治学	2	4								2		
教育学	2	2								2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	自然・数理・情報科目 (自然分野・情報科目)	数学基礎	1	4							2	
		統計学入門	1	4							6	
		情報科学(情報と社会)	1	2							1	
		生命科学	1	2							1	
		コンピュータ・リテラシー	2	2							4	
		プログラミング	2	2							4	
		環境科学	2	2							2	
		平和・人権・世界科目 (その他)	総合科目A	1	2							1
			平和学入門	1	2		1					
			共通総合演習	1	2							5
総合科目B	2		2							1		
地域研究A	2		2							1		
地域研究B	2	2		1								
地域研究C	2	2							1			
小計(51科目)		-	6	118	0	8	2	1	0	0	82	
専門科目	インターネット・ドクトリー科目	人間学	1	2		3		1				
		異文化コミュニケーション入門	1	2							1	
		哲学・思想への招待	1	2		1					1	
		世界文学への招待	1	2		6	1				1	
		表現文化論入門	1	2		2	1				1	
		歴史学への招待	1	2		1	1				1	
		現代社会研究への招待	1	2		3	1					
		ベシツク科目	社会福祉論	1	2			1				
	日本語教育概論		1	4							2	
	仏教思想概論		1	2							1	
	西洋哲学史 I		1	2							1	
	哲学概論		1	2				1				
	文学研究法入門 I		1	2		2	1				1	
	文学研究法入門 II		1	2			1				1	
	ロシア文学入門		1	2			1					
	日本文学概論		1	2		1						
	日本語学概論 I		1	2		1						
	日本語学概論 II		1	2		1						
	比較文化 I		1	2		1						
	比較文化 II		1	2		1						
	歴史学概論		1	2							1	
	比較文化史概論		1	2		1						
	考古学概論		1	2							1	
	現代ロシア概論		1	2		1						
	国際関係論		1	2		1						
	社会調査の基礎		1	2							1	
	社会学概論		1	2							1	
	文化人類学		1	2		1						
	日本語コミュニケーション論		2	2		1					1	
	対照言語学		2	2							1	
	日本語音声学		2	2							1	
	倫理学概論	2	2		1					1		
日本思想史 I	2	2							1			
イギリス古典文学史	2	2		1								
イギリス近代文学史	2	2		1								
アメリカ文学史	2	2		1								
演劇入門	2	2		1								
ロシアの歴史と文化	2	2		1								
東欧の歴史と文化	2	2							1			
映画論	2	2							1			
日本文学史	2	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	自然・数理・情報科目 (自然分野・情報科目)	数学基礎	1	4							2	
		統計学入門	1	4							4	
		情報科学(情報と社会)	1	2							1	
		生命科学	1	2							1	
		コンピュータ・リテラシー	1	2							4	
		プログラミング	2	2							2	
		環境科学	2	2							2	
		平和・人権・世界科目 (その他)	総合科目A	1	2							1
			平和学入門	1	2		1					
			共通総合演習	1	2							10
総合科目B	2		2							1		
地域研究A	2		2							1		
地域研究B	2	2		1								
地域研究C	2	2							1			
小計(51科目)		-	6	118	0	8	2	0	0	0	78	
専門科目	インターネット・ドクトリー科目	人間学	1	2		3		1				
		異文化コミュニケーション入門	1	2							1	
		哲学・思想への招待	1	2		1					1	
		世界文学への招待	1	2		6	1				1	
		表現文化論入門	1	2		2	1				1	
		歴史学への招待	1	2		1	1				1	
		現代社会研究への招待	1	2		3	1					
		ベシツク科目	社会福祉論	1	2			1				
	日本語教育概論		1	4							2	
	仏教思想概論		1	2							1	
	西洋哲学史 I		1	2							1	
	哲学概論		1	2				1			1	
	文学研究法入門 I		1	2		2	1				1	
	文学研究法入門 II		1	2			1				1	
	ロシア文学入門		1	2			1					
	日本文学概論		1	2		1						
	日本語学概論 I		1	2		1						
	日本語学概論 II		1	2		1						
	比較文化 I		1	2		1						
	比較文化 II		1	2		1						
	歴史学概論		1	2							1	
	比較文化史概論		1	2		1						
	考古学概論		1	2							1	
	現代ロシア概論		1	2		1						
	国際関係論		1	2		1						
	社会調査の基礎		1	2							1	
	社会学概論		1	2							1	
	文化人類学		1	2		1						
	日本語コミュニケーション論		2	2		1					1	
	対照言語学		2	2							1	
	日本語音声学		2	2							1	
	倫理学概論	2	2		1					1		
日本思想史 I	2	2							1			
イギリス古典文学史	2	2		1								
イギリス近代文学史	2	2		1								
アメリカ文学史	2	2		1								
演劇入門	2	2		1								
ロシアの歴史と文化	2	2		1								
東欧の歴史と文化	2	2							1			
映画論	2	2							1			
日本文学史	2	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2								1
		中国文学Ⅱ	2	2								1
		言語学概論	2	4								2
		日本古代・中世史概説	2	2		1						
		西洋史概説Ⅰ	2	2								1
		西洋史概説Ⅱ	2	2								1
		東洋史概説Ⅰ	2	2			1					
		東洋史概説Ⅱ	2	2			1					
		現代中国概論	2	2		1						
		中央アジア論	2	2		1						
		社会学史概説	2	2			1					
		家族の社会学	2	2								1
		地域と都市の社会学	2	2								1
		ジャーナリズムの社会学	2	2								1
宗教社会学	2	2								1		
児童福祉論	2	2								1		
アドヴァンス科目	アドヴァンス科目	社会言語学	2	2		1						
		日本語文法Ⅰ	2	2		1						
		日本語文法Ⅱ	2	4		1						
		日本語教材研究Ⅰ	2	2								3
		日本語教材研究Ⅱ	2	2								3
		日本語教授法Ⅰ	2	2								1
		日本語教授法Ⅱ	2	2								1
		日本語の表現	2	2								1
		西洋哲学史Ⅱ	2	2								1
		論理学	2	2								1
		科学哲学	2	2								1
		宗教学	2	2								1
		言語哲学	2	2				1				
		東洋思想史	2	2								1
		日本思想史Ⅱ	2	2								1
		日本古典文学作家作品論	2	2								1
		日本近代文学作家作品論	2	2			1					
		漢文学特講Ⅰ	2	2								1
		漢文学特講Ⅱ	2	2								1
		日本語の語彙・表記	2	2			1					
		日本近世・近現代史概説	2	2			1					
		中国の政治	2	2			1					
		中国の経済	2	2			1					
		メディアと社会心理	2	2				1				
		歴史の社会学	2	2			1					
		ジェンダーの社会学	2	2								1
		現代宗教の社会学	2	2								1
		日本語教育学特講A	3	2								1
		日本語教育学特講B	3	2								1
		日本語教育学特講C	3	2								1
		言語習得理論	3	4			1					
		英米児童文学研究	3	2			1					
		ロシア文学	3	2				1				
		中東文化論Ⅰ	3	2			1					
中東文化論Ⅱ	3	2			1							
中央ユーラシア史	3	2								1		
民俗学	3	2								1		
西洋文化史	3	2								1		
東洋文化史	3	2								1		
古文書学	3	2								1		
平和学	3	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2									1
		中国文学Ⅱ	2	2									1
		言語学概論	2	4									2
		日本古代・中世史概説	2	2				1					
		西洋史概説Ⅰ	2	2									1
		西洋史概説Ⅱ	2	2									1
		東洋史概説Ⅰ	2	2					1				
		東洋史概説Ⅱ	2	2					1				
		現代中国概論	2	2			1						
		中央アジア論	2	2			1						
		社会学史概説	2	2							1		
		家族の社会学	2	2									1
		地域と都市の社会学	2	2									1
		ジャーナリズムの社会学	2	2									1
宗教社会学	2	2									1		
児童福祉論	2	2									1		
アドヴァンス科目	アドヴァンス科目	社会言語学	2	2			1						
		日本語文法Ⅰ	2	2			1						1
		日本語文法Ⅱ	2	4			1						1
		日本語教材研究Ⅰ	2	2									4
		日本語教材研究Ⅱ	2	2									3
		日本語教授法Ⅰ	2	2									1
		日本語教授法Ⅱ	2	2									1
		日本語の表現	2	2									1
		西洋哲学史Ⅱ	2	2									1
		論理学	2	2									1
		科学哲学	2	2									1
		宗教学	2	2									1
		言語哲学	2	2							1		
		東洋思想史	2	2									1
		日本思想史Ⅱ	2	2									1
		日本古典文学作家作品論	2	2									1
		日本近代文学作家作品論	2	2						1			
		漢文学特講Ⅰ	2	2									1
		漢文学特講Ⅱ	2	2									1
		日本語の語彙・表記	2	2							1		
		日本近世・近現代史概説	2	2							1		
		中国の政治	2	2							1		
		中国の経済	2	2							1		
		メディアと社会心理	2	2							1		
		歴史の社会学	2	2							1		
		ジェンダーの社会学	2	2									1
		現代宗教の社会学	2	2									1
		日本語教育学特講A	3	2									1
		日本語教育学特講B	3	2									1
		日本語教育学特講C	3	2									1
		言語習得理論	3	4							1		
		英米児童文学研究	3	2							1		
		ロシア文学	3	2							1		
		中東文化論Ⅰ	3	2							1		
中東文化論Ⅱ	3	2							1				
中央ユーラシア史	3	2									1		
民俗学	3	2									1		
西洋文化史	3	2									1		
東洋文化史	3	2									1		
古文書学	3	2									1		
平和学	3	2							1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 アドヴァンスト科目	人間の安全保障	3通	2			1							
	国際社会論	3通	2			1							
	卒業研究A I	3通	1			1							
	日本語教授法演習	4通	2										3
	日本語教育実習	4通	2										2
	卒業研究A II【異文化コミュニケーション日本語】	4通	3			1							
	卒業研究A II（哲学・歴史学）	4通	3			1	1						1
	卒業研究A II（表現文化）	4通	3			6	1						
	卒業研究A II（社会学）	4通	3			1							
	卒業研究B【異文化コミュニケーション日本語】	4通	4			1							
	卒業研究B（哲学・歴史学）	4通	4			1							1
卒業研究B（表現文化）	4通	4			6	1							
卒業研究B（社会学）	4通	4			1	1						1	
小計(111科目)		-	0	239	0	22	5	1	0	0	0	0	34
合計(162科目)		-	2	357	0	22	5	1	0	0	0	0	110
卒業要件及び履修方法													
○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目（英語）から必修4単位を含む4単位以上、言語科目（第2外国語）から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、 ○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間））													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 アドヴァンスト科目	人間の安全保障	3通	2			1							
	国際社会論	3通	2			1							
	卒業研究A I	3通	1			1							
	日本語教授法演習	4通	2										3
	日本語教育実習	4通	2										3
	卒業研究A II【異文化コミュニケーション日本語】	4通	3			1							
	卒業研究A II（哲学・歴史学）	4通	3			1	1						1
	卒業研究A II（表現文化）	4通	3			7							
	卒業研究A II（社会学）	4通	3			1							
	卒業研究B【異文化コミュニケーション日本語】	4通	4			1							4
	卒業研究B（哲学・歴史学）	4通	4			1							5
卒業研究B（表現文化）	4通	4			7								
卒業研究B（社会学）	4通	4			1	1						1	
小計(111科目)		-	0	239	0	24	4	0	0	0	0	0	44
合計(162科目)		-	2	357	0	24	4	0	0	0	0	0	117
卒業要件及び履修方法													
○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目（英語）から必修4単位を含む4単位以上、言語科目（第2外国語）から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、 ○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間））													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	大学科目	人間教育論	1	2		4					8
		創価教育論	1	2							6
		自立学習入門	1	2		1					10
	(英語科目)	英語ⅠA	1	2		1					2
		英語ⅠB	1	2		1					6
		英語ⅡA	2	2							2
		英語ⅡB	2	2							5
	言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2	2							6
		英会話Ⅱ	2	2							6
		ドイツ語A	2	2		1					1
		ドイツ語B	2	2		1					1
		フランス語A	2	2							2
		フランス語B	2	2							2
		中国語Ⅰ	2	2		1					2
		中国語Ⅱ	2	2		1					2
		スペイン語A	2	2		1					
		スペイン語B	2	2		1					1
	ハンゲルⅠ	2	2							3	
	ハンゲルⅡ	2	2							4	
	(健康・体育科目)	健康・体育講義B	1	2							1
		健康・体育講義C	1	2							1
	(人文・芸術・思想科目)	文学A	1	2							1
		文学B	1	2			1				
		哲学	1	4				1			1
		音楽	2	4							2
		美術	2	4							2
		倫理学	2	4			1				1
歴史		2	4			1				2	
(社会・文化・生活科目)	法学概説	1	2							1	
	日本国憲法	1	2							3	
	経済学	1	4							3	
	経営学入門	1	4							1	
	心理学	1	4							4	
	社会学Ⅰ	2	2							2	
	社会学Ⅱ	2	2			1				1	
	政治学	2	4							2	
	教育学	2	2							2	

【令和1年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	大学科目	人間教育論	1	2		4					8
		創価教育論	1	2							6
		自立学習入門	1	2					1		9
	(英語科目)	英語ⅠA	1	2		1					2
		英語ⅠB	1	2		1					7
		英語ⅡA	2	2							2
		英語ⅡB	2	2							4
	言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2	2							6
		英会話Ⅱ	2	2							4
		ドイツ語A	2	2		1					
		ドイツ語B	2	2		1					
		フランス語A	2	2							2
		フランス語B	2	2							2
		中国語Ⅰ	2	2		1					2
		中国語Ⅱ	2	2		1					1
		スペイン語A	2	2		1					
		スペイン語B	2	2		1					1
	ハンゲルⅠ	2	2							3	
	ハンゲルⅡ	2	2							3	
	(健康・体育科目)	健康・体育講義B	1	2							1
		健康・体育講義C	1	2							1
	(人文・芸術・思想科目)	文学A	1	2							1
		文学B	1	2				1			
		哲学	1	4					1		1
		音楽	2	4							2
		美術	2	4							2
		倫理学	2	4			1				1
歴史		2	4			1				3	
(社会・文化・生活科目)	法学概説	1	2							1	
	日本国憲法	1	2							3	
	経済学	1	4							3	
	経営学入門	1	4							1	
	心理学	1	4							3	
	社会学Ⅰ	2	2							2	
	社会学Ⅱ	2	2					1		1	
	政治学	2	4							2	
	教育学	2	2							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	自然・数理・情報科目 (自然分野・情報科目)	数学基礎	1	4							2
		統計学入門	1	4							6
		情報科学(情報と社会)	1	2							1
		生命科学	1	2							1
		コンピュータ・リテラシー	2	2							3
		プログラミング	2	2							3
	平和・人権・世界科目 (その他)	環境科学	2	2							2
		総合科目A	1	2							1
		平和学入門	1	2		1					
		共通総合演習	1	2							8
		総合科目B	2	2							1
地域研究A	2	2							1		
地域研究B	2	2		1							
地域研究C	2	2							1		
小計(51科目)		-	6	118	0	17	2	1	0	0	82
専門科目	インターネット・ロダクトリー科目	人間学	1	2		3		1			
		異文化コミュニケーション入門	1	2							1
		哲学・思想への招待	1	2		1					1
		世界文学への招待	1	2		6	1				1
		表現文化論入門	1	2		2	1				1
		歴史学への招待	1	2		1	1				1
		現代社会研究への招待	1	2		3	1				
	ベーシック科目	社会福祉論	1	2			1				
		日本語教育概論	1	4							2
		仏教思想概論	1	2							1
		西洋哲学史 I	1	2							1
		哲学概論	1	2				1			
		文学研究法入門 I	1	2		2	1				1
		文学研究法入門 II	1	2			1				1
		ロシア文学入門	1	2			1				
		日本文学概論	1	2		1					
		日本語学概論 I	1	2		1					
		日本語学概論 II	1	2		1					
		比較文化 I	1	2		1					
		比較文化 II	1	2		1					
		歴史学概論	1	2							1
		比較文化史概論	1	2		1					
		考古学概論	1	2							1
		現代ロシア概論	1	2		1					
		国際関係論	1	2		1					
		社会調査の基礎	1	2							1
		社会学概論	1	2							1
		文化人類学	1	2		1					
		日本語コミュニケーション論	2	2		1					1
		対照言語学	2	2							1
		日本語音声学	2	2							1
倫理学概論	2	2		1					1		
日本思想史 I	2	2							1		
イギリス古典文学史	2	2		1							
イギリス近代文学史	2	2		1							
アメリカ文学史	2	2		1							
演劇入門	2	2		1					1		
ロシアの歴史と文化	2	2		1							
東欧の歴史と文化	2	2							1		
映画論	2	2							1		
日本文学史	2	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	自然・数理・情報科目 (自然分野・情報科目)	数学基礎	1	4							2
		統計学入門	1	4							5
		情報科学(情報と社会)	1	2							1
		生命科学	1	2							1
		コンピュータ・リテラシー	1	2							3
		プログラミング	2	2							2
	平和・人権・世界科目 (その他)	環境科学	2	2							2
		総合科目A	1	2							1
		平和学入門	1	2		1					
		共通総合演習	1	2							11
		総合科目B	2	2							1
地域研究A	2	2							1		
地域研究B	2	2		1							
地域研究C	2	2							1		
小計(51科目)		-	6	118	0	9	1	1	0	0	84
専門科目	インターネット・ロダクトリー科目	人間学	1	2		3		1			
		異文化コミュニケーション入門	1	2							1
		哲学・思想への招待	1	2		1					1
		世界文学への招待	1	2		6	1				1
		表現文化論入門	1	2		2	1				1
		歴史学への招待	1	2		1	1				1
		現代社会研究への招待	1	2		3	1				
	ベーシック科目	社会福祉論	1	2			1				
		日本語教育概論	1	4							2
		仏教思想概論	1	2							1
		西洋哲学史 I	1	2							1
		哲学概論	1	2				1			
		文学研究法入門 I	1	2		2	1				3
		文学研究法入門 II	1	2			1				1
		ロシア文学入門	1	2			1				1
		日本文学概論	1	2		1					
		日本語学概論 I	1	2		1					
		日本語学概論 II	1	2		1					
		比較文化 I	1	2		1					
		比較文化 II	1	2		1					
		歴史学概論	1	2							1
		比較文化史概論	1	2		1					
		考古学概論	1	2							1
		現代ロシア概論	1	2		1					
		国際関係論	1	2		1					
		社会調査の基礎	1	2							1
		社会学概論	1	2							1
		文化人類学	1	2		1					
		日本語コミュニケーション論	2	2		1					1
		対照言語学	2	2							1
		日本語音声学	2	2							1
倫理学概論	2	2		1					1		
日本思想史 I	2	2							1		
イギリス古典文学史	2	2		1							
イギリス近代文学史	2	2		1							
アメリカ文学史	2	2		1							
演劇入門	2	2		1					1		
ロシアの歴史と文化	2	2		1							
東欧の歴史と文化	2	2							1		
映画論	2	2							1		
日本文学史	2	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2								1
		中国文学Ⅱ	2	2								1
		言語学概論	2	4								2
		日本古代・中世史概説	2	2		1						
		西洋史概説Ⅰ	2	2								1
		西洋史概説Ⅱ	2	2								1
		東洋史概説Ⅰ	2	2			1					
		東洋史概説Ⅱ	2	2			1					
		現代中国概論	2	2		1						
		中央アジア論	2	2		1						
		社会学史概説	2	2			1					
		家族の社会学	2	2								1
		地域と都市の社会学	2	2								1
		ジャーナリズムの社会学	2	2								1
		宗教社会学	2	2								1
児童福祉論	2	2								1		
アドヴァンスト科目	アドヴァンスト科目	社会言語学	2	2		1						
		日本語文法Ⅰ	2	2		1						
		日本語文法Ⅱ	2	4		1						
		日本語教材研究Ⅰ	2	2								3
		日本語教材研究Ⅱ	2	2								3
		日本語教授法Ⅰ	2	2								1
		日本語教授法Ⅱ	2	2								1
		日本語の表現	2	2								1
		西洋哲学史Ⅱ	2	2								1
		論理学	2	2								1
		科学哲学	2	2								1
		宗教学	2	2								1
		言語哲学	2	2				1				
		東洋思想史	2	2								1
		日本思想史Ⅱ	2	2								1
		日本古典文学作家作品論	2	2								1
		日本近代文学作家作品論	2	2		1						
		漢文学特講Ⅰ	2	2								1
		漢文学特講Ⅱ	2	2								1
		日本語の語彙・表記	2	2			1					
		日本近世・近現代史概説	2	2			1					
		中国の政治	2	2			1					
		中国の経済	2	2			1					
		メディアと社会心理	2	2				1				
		歴史の社会学	2	2			1					
		ジェンダーの社会学	2	2								1
		現代宗教の社会学	2	2								1
		日本語教育学特講A	3	2								1
		日本語教育学特講B	3	2								1
		日本語教育学特講C	3	2								1
		言語習得理論	3	4			1					
		英米児童文学研究	3	2			1					
		ロシア文学	3	2				1				
		中東文化論Ⅰ	3	2			1					
		中東文化論Ⅱ	3	2			1					
		中央ユーラシア史	3	2								1
		民俗学	3	2								1
		西洋文化史	3	2								1
		東洋文化史	3	2								1
		古文書学	3	2								1
平和学	3	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2								1
		中国文学Ⅱ	2	2								1
		言語学概論	2	4								2
		日本古代・中世史概説	2	2			1					
		西洋史概説Ⅰ	2	2								1
		西洋史概説Ⅱ	2	2								1
		東洋史概説Ⅰ	2	2					1			
		東洋史概説Ⅱ	2	2					1			
		現代中国概論	2	2			1					
		中央アジア論	2	2			1					
		社会学史概説	2	2						1		
		家族の社会学	2	2								1
		地域と都市の社会学	2	2								1
		ジャーナリズムの社会学	2	2								1
		宗教社会学	2	2								1
児童福祉論	2	2								1		
アドヴァンスト科目	アドヴァンスト科目	社会言語学	2	2		1						
		日本語文法Ⅰ	2	2		1						
		日本語文法Ⅱ	2	4		1						
		日本語教材研究Ⅰ	2	2								3
		日本語教材研究Ⅱ	2	2								3
		日本語教授法Ⅰ	2	2								1
		日本語教授法Ⅱ	2	2								1
		日本語の表現	2	2								1
		西洋哲学史Ⅱ	2	2								1
		論理学	2	2								1
		科学哲学	2	2								1
		宗教学	2	2								1
		言語哲学	2	2						1		
		東洋思想史	2	2								1
		日本思想史Ⅱ	2	2								1
		日本古典文学作家作品論	2	2								1
		日本近代文学作家作品論	2	2					1			
		漢文学特講Ⅰ	2	2								1
		漢文学特講Ⅱ	2	2								1
		日本語の語彙・表記	2	2			1					
		日本近世・近現代史概説	2	2			1					
		中国の政治	2	2			1					
		中国の経済	2	2			1					
		メディアと社会心理	2	2						1		
		歴史の社会学	2	2			1					
		ジェンダーの社会学	2	2								1
		現代宗教の社会学	2	2								1
		日本語教育学特講A	3	2								1
		日本語教育学特講B	3	2								1
		日本語教育学特講C	3	2								1
		言語習得理論	3	4			1			1		
		英米児童文学研究	3	2			1			1		
		ロシア文学	3	2						1		
		中東文化論Ⅰ	3	2			1			1		
		中東文化論Ⅱ	3	2			1			1		
		中央ユーラシア史	3	2								1
		民俗学	3	2								1
		西洋文化史	3	2								1
		東洋文化史	3	2								1
		古文書学	3	2								1
平和学	3	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人間の安全保障	3通	2			1						
	国際社会論	3通	2			1						
	卒業研究A I	3通	1			1						
	日本語教授法演習	4通	2									3
	日本語教育実習	4通	2									2
	卒業研究A II【異文化コミュニケーション(日本語)】	4通	3			1						
	卒業研究A II (哲学・歴史学)	4通	3			1	1					1
	卒業研究A II (表現文化)	4通	3			6	1					
	卒業研究A II (社会学)	4通	3			1						
	卒業研究B【異文化コミュニケーション(日本語)】	4通	4			1						
	卒業研究B (哲学・歴史学)	4通	4			1						1
	卒業研究B (表現文化)	4通	4			6	1					
卒業研究B (社会学)	4通	4			1	1					1	
小計(111科目)		-	2	239	0	22	5	1	0	0	0	34
合計(162科目)		-	8	357	0	22	5	1	0	0	0	110
卒業要件及び履修方法												
○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目(英語)から必修4単位を含む4単位以上、言語科目(第2外国語)から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、 ○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:40単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人間の安全保障	3通	2			1						
	国際社会論	3通	2			1						
	卒業研究A I	3通	1			1						
	日本語教授法演習	4通	2									3
	日本語教育実習	4通	2									2
	卒業研究A II【異文化コミュニケーション(日本語)】	4通	3			3		1				
	卒業研究A II (哲学・歴史学)	4通	3			3	2					1
	卒業研究A II (表現文化)	4通	3			3	7					
	卒業研究A II (社会学)	4通	3			3		1				
	卒業研究B【異文化コミュニケーション(日本語)】	4通	4			4		1				
	卒業研究B (哲学・歴史学)	4通	4			4		1				1
	卒業研究B (表現文化)	4通	4			4		7				
卒業研究B (社会学)	4通	4			4		1	1			1	
小計(111科目)		-	0	239	0	25	2	1	0	0	0	34
合計(162科目)		-	2	357	0	25	2	1	0	0	0	111
卒業要件及び履修方法												
○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目(英語)から必修4単位を含む4単位以上、言語科目(第2外国語)から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、 ○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:40単位(年間))												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	人間教育論	1通		2		4						8	
	創価教育論	1通		2								5	
	自立学習入門	1通	2				1					10	
	(英語科目)	英語ⅠA	1通	2			1						2
		英語ⅠB	1通	2			1						7
		英語ⅡA	2通		2								2
		英語ⅡB	2通		2								3
	言語科目 (第2外国語)	英会話Ⅰ	2通		2								6
		英会話Ⅱ	2通		2								5
		ドイツ語A	2通		2		1						1
		ドイツ語B	2通		2		1						1
		フランス語A	2通		2								2
		フランス語B	2通		2								2
		中国語Ⅰ	2通		2		1						3
		中国語Ⅱ	2通		2		1						1
		スペイン語A	2通		2		1						2
		スペイン語B	2通		2		1						2
	ハンガールⅠ	2通		2								3	
	ハンガールⅡ	2通		2								3	
	(健康・体育科目 その他)	体育講義B	1通		2								1
		体育講義C	1通		2								1
	(人文分野 科目)	文学A	1通		2								2
		文学B	1通		2		1						
		哲学	1通		4			1					1
		音楽	2通		4								2
		美術	2通		4								2
		倫理学	2通		4		1						1
歴史		2通		4		1						3	
(社会・文化分野 科目)	法学概説	1通		2								1	
	日本国憲法	1通		2								3	
	経済学	1通		4								3	
	経営学入門	1通		4								1	
	心理学	1通		4								3	
	社会学Ⅰ	2通		2								2	
	社会学Ⅱ	2通		2			1					1	
	政治学	2通		4								2	
	教育学	2通		2								2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	自然・数理・情報分野・情報科目 (自然分野・情報科目)	数学基礎	1通	4								3
		統計学入門	1通	4								5
		情報科学(情報と社会)	1通	2								1
		生命科学	1通	2								1
		コンピュータ・リテラシー	1通	2								4
		プログラミング	2通	2								2
		環境科学	2通	2								2
		総合科目A	1通	2								1
	平和・人権・その他 (その他)	平和学入門	1通	2		1						
		共通総合演習	1通	2								10
		総合科目B	2通	2								1
		地域研究A	2通	2								1
		地域研究B	2通	2		1						
		地域研究C	2通	2								1
	小計(51科目)	-	6	118	0	9	1	1	0	0	88	
専門科目	インターネット・ドクトリー科目	人間学	1通	2		3	1					1
		異文化コミュニケーション入門	1通	2								1
		哲学・思想への招待	1通	2		1						1
		世界文学への招待	1通	2		7						1
		表現文化論入門	1通	2		3						1
		歴史学への招待	1通	2		2						1
		現代社会研究への招待	1通	2		3	1					
	ベシツク科目	社会福祉論	1通	2			1					
		日本語教育概論	1通	4								2
		仏教思想概論	1通	2								1
		西洋哲学史 I	1通	2								1
		哲学概論	1通	2				1				1
		文学研究法入門 I	1通	2		3						1
		文学研究法入門 II	1通	2		1						1
		ロシア文学入門	1通	2		1						
		日本文学概論	1通	2		1						
		日本語学概論 I	1通	2		1						
		日本語学概論 II	1通	2		1						
		比較文化 I	1通	2		1						
		比較文化 II	1通	2		1						
		歴史学概論	1通	2								1
		比較文化史概論	1通	2		1						
		考古学概論	1通	2								1
		現代ロシア概論	1通	2		1						
		国際関係論	1通	2		1						
		社会調査の基礎	1通	2								1
		社会学概論	1通	2								1
		文化人類学	1通	2		1						
		日本語コミュニケーション論	2通	2		1						1
		対照言語学	2通	2		1						
		日本語音声学	2通	2								1
		倫理学概論	2通	2		1						1
		日本思想史 I	2通	2								1
		イギリス古典文学史	2通	2		1						
		イギリス近代文学史	2通	2		1						
		アメリカ文学史	2通	2		1						
		演劇入門	2通	2		1						
		ロシアの歴史と文化	2通	2		1						
		東欧の歴史と文化	2通	2								1
		映画論	2通	2								1
		日本文学史	2通	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ベシツク科目	中国文学Ⅰ	2	2							1
	中国文学Ⅱ	2	2								1
	言語学概論	2	4								2
	日本古代・中世史概説	2	2		1						
	西洋史概説Ⅰ	2	2								1
	西洋史概説Ⅱ	2	2								1
	東洋史概説Ⅰ	2	2			1					
	東洋史概説Ⅱ	2	2			1					
	現代中国概論	2	2			1					
	中央アジア論	2	2			1					
	社会学史概説	2	2				1				
	家族の社会学	2	2								1
	地域と都市の社会学	2	2								1
	ジャーナリズムの社会学	2	2								1
	宗教社会学	2	2								1
児童福祉論	2	2								1	
アドヴァンススト科目	社会言語学	2	2		1						
	日本語文法Ⅰ	2	2		1						1
	日本語文法Ⅱ	2	4		1						1
	日本語教材研究Ⅰ	2	2								3
	日本語教材研究Ⅱ	2	2								3
	日本語教授法Ⅰ	2	2								1
	日本語教授法Ⅱ	2	2								1
	日本語の表現	2	2								1
	西洋哲学史Ⅱ	2	2								1
	論理学	2	2								1
	科学哲学	2	2								1
	宗教学	2	2								1
	言語哲学	2	2				1				
	東洋思想史	2	2								1
	日本思想史Ⅱ	2	2								1
	日本古典文学作家作品論	2	2								1
	日本近代文学作家作品論	2	2			1					
	漢文学特講Ⅰ	2	2								1
	漢文学特講Ⅱ	2	2								1
	日本語の語彙・表記	2	2			1					
	日本近世・近現代史概説	2	2			1					
	中国の政治	2	2			1					
	中国の経済	2	2			1					
	メディアと社会心理	2	2				1				
	歴史の社会学	2	2			1					
	ジェンダーの社会学	2	2								1
	現代宗教の社会学	2	2								1
	日本語教育学特講A	3	2								1
	日本語教育学特講B	3	2								1
	日本語教育学特講C	3	2								1
	言語習得理論	3	4			1					
	英米児童文学研究	3	2			1					
	ロシア文学	3	2				1				
中東文化論Ⅰ	3	2			1						
中東文化論Ⅱ	3	2			1						
中央ユーラシア史	3	2								1	
民俗学	3	2								1	
西洋文化史	3	2								1	
東洋文化史	3	2								1	
古文書学	3	2								1	
平和学	3	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人間の安全保障	3通		2		1						
	国際社会論	3通		2		1						
	卒業研究A I	3通		1		1						
	日本語教授法演習	4通		2								3
	日本語教育実習	4通		2								2
	卒業研究A II (異文化コミュニケーション日本語)	4通		3		1						
	卒業研究A II (哲学・歴史学)	4通		3		2						1
	卒業研究A II (表現文化)	4通		3		7						
	卒業研究A II (社会学)	4通		3		1						
	卒業研究B (異文化コミュニケーション日本語)	4通		4		1						
	卒業研究B (哲学・歴史学)	4通		4		1						1
	卒業研究B (表現文化)	4通		4		7						
卒業研究B (社会学)	4通		4		1	1					1	
小計(111科目)		-	0	239	0	25	3	0	0	0	0	35
合計(162科目)		-	2	357	0	25	3	0	0	0	0	116
卒業要件及び履修方法												
<p>○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目(英語)から必修4単位を含む4単位以上、言語科目(第2外国語)から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、</p> <p>○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:40単位(年間))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「創価教育論」を都合により兼任教員の配置数を「7」から「6」に変更。
- ・「英語ⅠB」を都合により兼任教員の配置数を「8」から「6」に変更。
- ・「体育講義B」を都合により兼任教員の配置数を「2」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任教員の配置数を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「心理学」の兼任・兼任教員の配置数を「3」から「4」に変更。
- ・「コンピュータリテラシー」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・「プログラミング」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「共通総合演習」の兼任・兼任教員の配置数を「5」から「8」に変更。

【令和元年度】

- ・都合により「自立学習入門」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に、兼任・兼任を「10」から「9」に変更。
- ・「英語ⅠB」を都合により兼任教員の配置数を「6」から「7」に変更。
- ・「英語ⅡB」を受講者数減少のため、兼任教員の配置数を「5」から「4」に変更。
- ・「英会話Ⅱ」を都合により兼任教員の配置数を「6」から「4」に変更。
- ・「ドイツ語A」「ドイツ語B」を受講者数少数のため、兼任教員の配置数を「1」から「0」に変更し、専任教員の教授「1」で担当。
- ・「中国語Ⅱ」を都合により兼任教員の配置数を「2」から「1」に変更。
- ・「ハンゲルⅡ」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・「心理学」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・「統計学入門」を都合により兼任教員の配置数を「6」から「5」に変更。
- ・「コンピュータリテラシー」を早期の開講とするため、配当年次を「2通」から「1通」に変更。
- ・「プログラミング」を受講者数減少のため、兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「共通総合演習」の兼任・兼任教員の配置数を「8」から「11」に変更。
- ・「日本語法Ⅱ」を都合により兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・「文学B」「世界文学への招待」「表現文化論入門」「歴史学への招待」「文学研究法入門Ⅰ」「文学研究法入門Ⅱ」「ロシア文学入門」「東洋史概説Ⅰ」「東洋史概説Ⅱ」「メディアと社会心理」「ロシア文学」「卒業研究AⅡ（哲学・歴史）」「卒業研究AⅡ（表現文化）」「卒業研究B（表現文化）」の担当教員の昇任に伴い、准教授から教授へ各「1」を変更。

【令和2年度】

- ・「創価教育論」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「6」から「5」に変更。
- ・「自立学習入門」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「9」から「10」に変更。
- ・「英語ⅡB」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「英会話Ⅱ」を兼任・兼任教員の配置数を「4」から「5」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「ドイツ語A」「ドイツ語B」の兼任・兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「中国語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置数を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「スペイン語B」の兼任・兼任教員の配置数を「1」から「2」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「文学A」の兼任・兼任教員の配置数を「1」から「2」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「数学基礎」の兼任・兼任教員の配置数を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「コンピュータ・リテラシー」の兼任・兼任教員の配置数を「3」から「4」に変更。
- ・「共通総合演習」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「10」から「9」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「人間学」の兼任・兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「哲学概論」の兼任・兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・「対照言語学」を都合により兼任・兼任教員数を「1」から「0」に、教授（専任）を「0」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「日本語文法Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・「哲学」「人間学」「哲学概論」「言語哲学」の担当教員の昇任に伴い、講師から准教授へ各「1」を変更。

【令和3年度】

- ・「英会話Ⅰ」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「6」から「4」に変更。
- ・「英会話Ⅱ」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「5」から「2」に変更。
- ・「中国語Ⅰ」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
- ・「スペイン語B」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「2」から「1」に変更。
- ・「ハンゲルⅡ」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
- ・「歴史」を都合により教授（専任）の配置数を「1」から「0」に、兼任・兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
- ・「日本国憲法」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
- ・「数学基礎」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
- ・「統計学入門」を都合により兼任・兼任教員の配置数を「5」から「4」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「対照言語学」を兼任・兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「日本語教材研究Ⅰ」を兼任・兼任教員の配置数を「3」から「4」に変更。
- ・「メディアと社会心理」を都合により、教授（専任）の配置数を「1」から「0」に、准教授（専任）の配置数を「0」から「1」に変更（令和3年2月教員審査済）。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「中東文化論Ⅰ」を兼任・兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「日本語教育実習」を兼任・兼任教員の配置数を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「卒業研究B（異文化コミュニケーション日本語）」を兼任・兼任教員の配置数を「0」から「4」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「卒業研究B（哲学・歴史学）」を兼任・兼任教員の配置数を「1」から「5」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	158 科目	0 科目	162 科目	4 科目 [0]	158 科目 [0]	0 科目 [0]	162 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{162} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	万葉国際寮隣地の赤道 購入に伴う修正 (30)		
	校舎敷地	263,071.08 m ² 262,997.08 m ²	0 m ²	0 m ²	263,071.08 m ² 262,997.08 m ²			
	運動場用地	108,423.08 m ²	0 m ²	0 m ²	108,423.08 m ²			
	小 計	371,494.16 m ² 371,420.16 m ²	0 m ²	0 m ²	371,494.16 m ² 371,420.16 m ²			
	そ の 他	371,326.19 m ²	0 m ²	0 m ²	371,326.19 m ²			
	合 計	742,820.35 m ² 742,746.35 m ²	0 m ²	0 m ²	742,820.35 m ² 742,746.35 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	ラーニング棟別館解体 完了による修正 (2)			
	163,314.59 m ² 164,126.49 m ²	0 m ²	0 m ²	163,314.59 m ² 164,126.49 m ²				
	163,314.59 m ² -(164,126.49 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	163,314.59 m ² -(164,126.49 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	講義室内3室が情報処 理学習施設に変更と なったため (元)		
	57室 60室	5室	0室	8室 5室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員1名退職ため (3)		
	文学部 人間学科		28 29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書: 940,997冊 (971,542冊) 雑誌: 6,134種 (6,298種) 見直しによる購入と 除籍を行ったため (3)
	通信教育部文学 部人間学科	349,579 [93,109] (368,993 [99,917])	850 [360] 867 [372] (858 [373])	9,706 [9,639] (11,222 [11,153])	1,918 (1,966)	()	()	
	計	349,579 [93,109] (368,993 [99,917])	850 [360] 867 [372] (858 [373])	9,706 [9,639] (11,222 [11,153])	1,918 (1,966)	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,763.80 m ²		1,200 席	1,290,079 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	13,585.06 m ²		陸上競技場、野球場、ラグビー場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	0千円	0千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		116千円	89千円	89千円	89千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、資産運用収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学等の名称	新設大学	****		4		開設年度	所在地	備考	
		入学定員	収容定員	平均入学定員超過率	令和年度入学定員超過率				
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和年度入学定員超過率	開設年度	所在地	備考
年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
経済学系	4	190	2年次18	796	1.03	1.00	平成30	昭和46	-
経済学系	4	190	2年次18	796	1.03	1.00	平成30	昭和46	定員変更(Δ10、3年次編入18)
法学系	4	240	2年次9	976	1.03	1.01	平成30	昭和46	-
法学系	4	240	2年次9	976	1.03	1.01	平成30	昭和46	同上
文学系	4	350	2年次40	1480	1.02	0.99	平成30	昭和46	-
人間学系	4	350	2年次40	1480	1.02	0.99	平成30	昭和46	同上
経営学系	4	190	2年次18	812	1.05	1.04	平成30	昭和51	-
経営学系	4	190	2年次18	812	1.05	1.04	平成30	昭和51	同上
教育学部	4	180	-	720	1.04	1.02	-	昭和51	-
教育学部	4	80	-	320	1.05	1.07	-	昭和51	同上
児童教育学部	4	100	-	400	1.03	0.97	-	昭和51	同上
理工学部	4	180	-	720	1.01	0.99	-	平成27	-
情報システム工学科	4	80	-	320	1.03	1.03	-	平成3	同上
共生創造理工学科	4	100	-	400	0.99	0.96	-	平成27	同上
生命情報工学科	4	-	-	-	-	-	-	平成3	平成27年学生募集停止
環境共生工学科	4	-	-	-	-	-	-	平成15	平成27年学生募集停止
看護学部	4	80	-	320	1.02	1.02	-	平成25	-
看護学部	4	80	-	320	1.02	1.02	-	平成25	同上
国際教養学系	4	90	-	360	0.92	0.91	平成30	平成26	-
国際教養学系	4	90	-	360	0.92	0.91	平成30	平成26	同上
大学全体〔通信教育部除く〕	4	1500	92	6184	1.02	1.00	-	-	-
[通信教育部]									
経済学系	4	1,000	2年次100	4,200	0.05	0.06	-	昭和51	-
経済学系	4	1,000	2年次100	4,200	0.05	0.06	平成30	昭和51	同上
法学系	4	1,000	2年次100	4,200	0.03	0.03	-	昭和51	定員変更(Δ1,000)
法学系	4	1,000	2年次100	4,200	0.03	0.03	平成30	昭和51	同上
教育学部	4	650	-	2,600	0.13	0.13	-	昭和57	-
教育学部	4	300	-	1,200	0.14	0.17	-	昭和57	同上
児童教育学部	4	350	-	1,400	0.12	0.10	-	昭和57	同上
文学系	4	750	2年次100	3,200	0.34	0.21	-	平成30	-
人間学系	4	750	2年次100	3,200	0.34	0.21	-	平成30	同上
[博士前期課程]									
経済学研究科	2	15	-	30	0.30	0.00	-	昭和50	-
経済学専攻	2	15	-	30	0.30	0.00	-	昭和50	同上
法学研究科	2	15	-	30	0.23	0.06	-	昭和50	-
法学専攻	2	15	-	30	0.23	0.06	-	昭和50	同上
文学研究科	2	58	-	116	0.53	0.55	-	昭和50	-
文学専攻	2	10	-	20	0.00	0.00	-	昭和50	同上
社会学専攻	2	10	-	20	0.65	0.50	-	昭和50	同上
教育学専攻	2	15	-	30	0.66	0.80	-	昭和61	同上
人文学専攻	2	8	-	16	0.75	1.00	-	平成4	同上
国際言語教育専攻	2	15	-	30	0.63	0.46	-	平成21	同上
国際平和学専攻	2	16	-	32	0.77	0.68	-	平成30	-
国際平和学専攻	2	16	-	32	0.77	0.68	-	平成30	同上
理工学研究科	2	70	-	140	0.82	0.71	-	令和2	同上
情報システム工学専攻	2	30	-	60	1.08	1.06	-	平成7	同上
生命情報工学専攻	2	-	-	-	-	-	-	平成7	令和2年学生募集停止
環境共生工学専攻	2	25	-	50	0.72	0.56	-	平成19	同上
生命理学専攻	2	15	-	30	0.67	0.53	-	令和2	同上
[博士後期課程]									
経済学研究科	3	5	-	15	0.06	0.00	-	昭和52	-
経済学専攻	3	5	-	15	0.06	0.00	-	昭和52	同上
法学研究科	3	3	-	9	0.44	0.66	-	昭和52	-
法学専攻	3	3	-	9	0.44	0.66	-	昭和52	同上
文学研究科	3	16	-	48	0.21	0.12	-	昭和52	-
文学専攻	3	5	-	15	0.00	0.00	-	昭和52	同上
社会学専攻	3	5	-	15	0.13	0.00	-	昭和52	同上
教育学専攻	3	2	-	6	0.66	0.50	-	平成元	同上
人文学専攻	3	4	-	12	0.08	0.00	-	平成6	同上
理工学研究科	3	14	-	42	0.67	0.66	-	平成9	-
情報システム工学専攻	3	4	-	12	0.58	0.00	-	平成9	同上
生命情報工学専攻	3	-	-	-	-	-	-	平成9	令和2年学生募集停止
環境共生工学専攻	3	5	-	15	0.84	1.00	-	平成19	同上
生命理学専攻	3	5	-	15	0.6	1.00	-	令和2	令和2年定員変更(2)
[専門職課程]									
法務研究科	3	28	-	84	0.58	0.57	-	平成16	-
法務専攻	3	28	-	84	0.58	0.57	-	平成16	同上
教職研究科	2	25	-	50	0.58	0.24	-	平成20	-
教職専攻	2	25	-	50	0.58	0.24	-	平成20	同上

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「専攻科及び別称を除く」。なお、別称対象の専攻科が設置されている大学から順に記載してください。
 ・「学部」の学名または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含みます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・「定員超過率」は「入学定員」を100として、定員超過率を計算してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和5年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学部 人間学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	アサマ リウイチ 浅山 龍一 (64) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※	専	教授	アサマ リウイチ 浅山 龍一 (65) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※	専	教授	アサマ リウイチ 浅山 龍一 (66) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※	専	教授	アサマ リウイチ 浅山 龍一 (68) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※
専	教授	サキ セイジ 佐々木 精治 (64) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化	専	教授	サキ セイジ 佐々木 精治 (65) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化	専	教授	サキ セイジ 佐々木 精治 (66) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化	専	教授	サキ セイジ 佐々木 精治 (67) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化
専	教授	イハラ タカシ 石原 忠佳 (64) <平成30年4月> Ph.D en Filosofía y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II	専	教授	イハラ タカシ 石原 忠佳 (65) <平成30年4月> Ph.D en Filosofía y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II	専	教授	イハラ タカシ 石原 忠佳 (66) <平成30年4月> Ph.D en Filosofía y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II	専	教授	イハラ タカシ 石原 忠佳 (67) <平成30年4月> Ph.D en Filosofía y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II
専	教授	タカ ヨウヘイ 田中 亮平 (63) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※	専	教授	タカ ヨウヘイ 田中 亮平 (64) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※	専	教授	タカ ヨウヘイ 田中 亮平 (65) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※	専	教授	タカ ヨウヘイ 田中 亮平 (67) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※
専	教授	フ ナトウ 武 澎東 (63) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論	専	教授	フ ナトウ 武 澎東 (64) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論	専	教授	フ ナトウ 武 澎東 (65) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論	専	教授	フ ナトウ 武 澎東 (66) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論
専	教授	キノタ カル 木下 薫 (63) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※ 世界文学への招待 ※	専	教授	キノタ カル 木下 薫 (64) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※ 世界文学への招待 ※	専	教授	キノタ カル 木下 薫 (65) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※ 世界文学への招待 ※	専	教授	キノタ カル 木下 薫 (66) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※ 世界文学への招待 ※
専	教授	カハシ ヲシ 高橋 強 (63) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 自立学習入門※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※	専	教授	カハシ ヲシ 高橋 強 (64) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 自立学習入門※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※	専	教授	カハシ ヲシ 高橋 強 (65) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※	専	教授	カハシ ヲシ 高橋 強 (66) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※
専	教授	アサキ ヨシヤ 季武 嘉也 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)	専	教授	アサキ ヨシヤ 季武 嘉也 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)	専	教授	アサキ ヨシヤ 季武 嘉也 (64) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)	専	教授	アサキ ヨシヤ 季武 嘉也 (65) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)
専	教授	ミヤ ミコ 守屋 三千代 (62) <平成30年4月> 文学修士	卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)	専	教授	ミヤ ミコ 守屋 三千代 (63) <平成30年4月> 文学修士	卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)	専	教授	ミヤ ミコ 守屋 三千代 (64) <平成30年4月> 文学修士	卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)	専	教授	ミヤ ミコ 守屋 三千代 (65) <平成30年4月> 文学修士	対照言語学 卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)
専	教授	カハシ タカシ 高橋 正 (61) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II	専	教授	カハシ タカシ 高橋 正 (62) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II	専	教授	カハシ タカシ 高橋 正 (63) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II	専	教授	カハシ タカシ 高橋 正 (64) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II

専	教授	材ノ 久美 大野 久美 (60) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	材ノ 久美 大野 久美 (61) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	材ノ 久美 大野 久美 (62) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	材ノ 久美 大野 久美 (63) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	材ノ 久美 大野 久美 (64) 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	カハ コウイチ 坂井 孝一 (59) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	カハ コウイチ 坂井 孝一 (60) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	カハ コウイチ 坂井 孝一 (61) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	カハ コウイチ 坂井 孝一 (62) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	カハ コウイチ 坂井 孝一 (63) 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概論			歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概論			歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概論			歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概論			歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概論
専	教授	スズキ ケンゴ 鈴木 邦彦 (59) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	スズキ ケンゴ 鈴木 邦彦 (60) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	スズキ ケンゴ 鈴木 邦彦 (61) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	スズキ ケンゴ 鈴木 邦彦 (62) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	スズキ ケンゴ 鈴木 邦彦 (63) 〈平成30年4月〉 文学修士
		世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	コザキ アキヨシ 小崎 晃義 (58) 〈平成30年4月〉 経済学修士	専	教授	コザキ アキヨシ 小崎 晃義 (59) 〈平成30年4月〉 経済学修士	専	教授	コザキ アキヨシ 小崎 晃義 (60) 〈平成30年4月〉 経済学修士	専	教授	コザキ アキヨシ 小崎 晃義 (61) 〈平成30年4月〉 経済学修士	専	教授	コザキ アキヨシ 小崎 晃義 (62) 〈平成30年4月〉 経済学修士
		現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論			現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論			現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論			現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論			現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論
専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (57) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (58) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (59) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (60) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (61) 〈平成30年4月〉 文学修士
		日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記			日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記			日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記			日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記			日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記
専	教授	ヤマカ マサキ 山岡 政紀 (54) 〈平成30年4月〉 博士(言語学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山岡 政紀 (55) 〈平成30年4月〉 博士(言語学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山岡 政紀 (56) 〈平成30年4月〉 博士(言語学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山岡 政紀 (57) 〈平成30年4月〉 博士(言語学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山岡 政紀 (58) 〈平成30年4月〉 博士(言語学)
		人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ			人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ			人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ			人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ			人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ
専	教授	ヤマカ マサキ 山中 正樹 (54) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山中 正樹 (55) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山中 正樹 (56) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山中 正樹 (57) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	専	教授	ヤマカ マサキ 山中 正樹 (58) 〈平成30年4月〉 博士(文学)
		世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※			世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	タマイ ヒデキ 玉井 秀樹 (54) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	タマイ ヒデキ 玉井 秀樹 (55) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	タマイ ヒデキ 玉井 秀樹 (56) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	タマイ ヒデキ 玉井 秀樹 (57) 〈平成30年4月〉 文学修士	専	教授	タマイ ヒデキ 玉井 秀樹 (58) 〈平成30年4月〉 文学修士
		平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)			平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)			平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)			平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)			平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)
専	教授	コハヤシ カズオ 小林 和夫 (50) 〈平成30年4月〉 博士(都市科学)	専	教授	コハヤシ カズオ 小林 和夫 (51) 〈平成30年4月〉 博士(都市科学)	専	教授	コハヤシ カズオ 小林 和夫 (52) 〈平成30年4月〉 博士(都市科学)	専	教授	コハヤシ カズオ 小林 和夫 (53) 〈平成30年4月〉 博士(都市科学)	専	教授	コハヤシ カズオ 小林 和夫 (54) 〈平成30年4月〉 博士(都市科学)
		歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)			歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)			歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)			歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)			歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)
専	教授	マツカ ノゾミ 大塚 望 (45) 〈平成30年4月〉 修士(言語学)※	専	教授	マツカ ノゾミ 大塚 望 (46) 〈平成30年4月〉 修士(言語学)※	専	教授	マツカ ノゾミ 大塚 望 (47) 〈平成30年4月〉 修士(言語学)※	専	教授	マツカ ノゾミ 大塚 望 (48) 〈平成30年4月〉 修士(言語学)※	専	教授	マツカ ノゾミ 大塚 望 (49) 〈平成30年4月〉 修士(言語学)※
		社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論			社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論			社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論			社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論			社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論
専	教授	イトウ タカ 伊藤 貴雄 (43) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	専	教授	イトウ タカ 伊藤 貴雄 (44) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	専	教授	イトウ タカ 伊藤 貴雄 (45) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	専	教授	イトウ タカ 伊藤 貴雄 (46) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	専	教授	イトウ タカ 伊藤 貴雄 (47) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)
		創価教育論※ 倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※			倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※			倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※			倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※			倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※
専	教授	イノエ タイスケ 井上 大介 (45) 〈平成30年4月〉 Doctor En Antropologia (メキシコ)	専	教授	イノエ タイスケ 井上 大介 (46) 〈平成30年4月〉 Doctor En Antropologia (メキシコ)	専	教授	イノエ タイスケ 井上 大介 (47) 〈平成30年4月〉 Doctor En Antropologia (メキシコ)	専	教授	イノエ タイスケ 井上 大介 (48) 〈平成30年4月〉 Doctor En Antropologia (メキシコ)	専	教授	イノエ タイスケ 井上 大介 (49) 〈平成30年4月〉 Doctor En Antropologia (メキシコ)
		人間学※ 文化人類学 卒業研究AⅠ			人間学※ 文化人類学 卒業研究AⅠ			人間学※ 文化人類学 卒業研究AⅠ			人間学※ 文化人類学 卒業研究AⅠ			人間学※ 文化人類学 卒業研究AⅠ

専	准教授	シバヤ アキ 渋谷 明子 (55) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	メディアと社会心理	専	教授	シバヤ アキ 渋谷 明子 (56) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	メディアと社会心理	専	教授	シバヤ アキ 渋谷 明子 (57) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	メディアと社会心理	専	教授	シバヤ アキ 渋谷 明子 (58) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	メディアと社会心理				
専	准教授	サカエ ミツリ 寒河江 光徳 (48) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門I※ 文学研究法入門II※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究A II(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※	専	教授	サカエ ミツリ 寒河江 光徳 (49) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門I※ 文学研究法入門II※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究A II(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※	専	教授	サカエ ミツリ 寒河江 光徳 (50) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門I※ 文学研究法入門II※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究A II(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※	専	教授	サカエ ミツリ 寒河江 光徳 (51) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門I※ 文学研究法入門II※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究A II(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※	専	教授	サカエ ミツリ 寒河江 光徳 (52) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門I※ 文学研究法入門II※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究A II(表現文化)※ 卒業研究B(表現文化)※
専	准教授	ムカミ ノブキ 村上 信明 (41) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	歴史学への招待※ 東洋史概説I 東洋史概説II 卒業研究A II(哲学・歴史学) ※	専	教授	ムカミ ノブキ 村上 信明 (42) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	歴史学への招待※ 東洋史概説I 東洋史概説II 卒業研究A II(哲学・歴史学) ※	専	教授	ムカミ ノブキ 村上 信明 (43) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	歴史学への招待※ 東洋史概説I 東洋史概説II 卒業研究A II(哲学・歴史学) ※	専	教授	ムカミ ノブキ 村上 信明 (44) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	歴史学への招待※ 東洋史概説I 東洋史概説II 卒業研究A II(哲学・歴史学) ※	専	教授	ムカミ ノブキ 村上 信明 (45) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	歴史学への招待※ 東洋史概説I 東洋史概説II 卒業研究A II(哲学・歴史学) ※
専	准教授	ニシカワ(かづ) ハナ 西川(加藤) ハンナ (49) 〈平成30年4月〉 社会福祉学修士※	社会福祉論	専	准教授	ニシカワ(かづ) ハナ 西川(加藤) ハンナ (50) 〈平成30年4月〉 社会福祉学修士※	社会福祉論	専	准教授	ニシカワ(かづ) ハナ 西川(加藤) ハンナ (51) 〈平成30年4月〉 社会福祉学修士※	社会福祉論	専	准教授	ニシカワ(かづ) ハナ 西川(加藤) ハンナ (52) 〈平成30年4月〉 社会福祉学修士※	社会福祉論	専	准教授	ニシカワ(かづ) ハナ 西川(加藤) ハンナ (53) 〈平成30年4月〉 社会福祉学修士※	社会福祉論
専	准教授	シズミ ツヨシ 清水 強志 (45) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	社会学II 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究B(社会学)	専	准教授	シズミ ツヨシ 清水 強志 (46) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	社会学II 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究B(社会学)	専	准教授	シズミ ツヨシ 清水 強志 (47) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	社会学II 自立学習入門※ 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究B(社会学)	専	准教授	シズミ ツヨシ 清水 強志 (48) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	社会学II 自立学習入門※ 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究B(社会学)	専	准教授	シズミ ツヨシ 清水 強志 (49) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	社会学II 自立学習入門※ 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究B(社会学)
専	講師	フウカハヤシ リョウ 蝶名林 亮 (35) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (英国)	創価教育論※ 哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学	専	講師	フウカハヤシ リョウ 蝶名林 亮 (36) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (英国)	哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学	専	講師	フウカハヤシ リョウ 蝶名林 亮 (37) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (英国)	哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学	専	准教授	フウカハヤシ リョウ 蝶名林 亮 (38) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (英国)	哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学	専	准教授	フウカハヤシ リョウ 蝶名林 亮 (39) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (英国)	哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学
学長 兼担	教授	ハバ ヨシサ 馬場 善久 (64) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	人間教育論※ 統計学入門※	学長 兼担	教授	ハバ ヨシサ 馬場 善久 (65) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	人間教育論※ 統計学入門※	学長 兼担	教授	ハバ ヨシサ 馬場 善久 (66) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	人間教育論※ 統計学入門※	学長 兼担	教授	ハバ ヨシサ 馬場 善久 (67) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	人間教育論※ 統計学入門※	学長 兼担	教授	ハバ ヨシサ 馬場 善久 (68) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	人間教育論※ 統計学入門※
兼担	教授	ハネミ ツネキ 花見 常幸 (64) 〈平成30年4月〉 法学修士※	人間教育論※ 共通総合演習	兼担	教授	ハネミ ツネキ 花見 常幸 (65) 〈平成30年4月〉 法学修士※	人間教育論※ 共通総合演習	兼担	教授	ハネミ ツネキ 花見 常幸 (66) 〈平成30年4月〉 法学修士※	人間教育論※ 共通総合演習	兼担	教授	ハネミ ツネキ 花見 常幸 (67) 〈平成30年4月〉 法学修士※	人間教育論※ 共通総合演習	兼担	教授	ハネミ ツネキ 花見 常幸 (68) 〈平成30年4月〉 法学修士※	人間教育論※ 共通総合演習
兼担	教授	カダチ コウイチ 神立 孝一 (61) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	人間教育論※ 創価教育論※	兼担	教授	カダチ コウイチ 神立 孝一 (62) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	人間教育論※ 創価教育論※	兼担	教授	カダチ コウイチ 神立 孝一 (63) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	人間教育論※ 創価教育論※	兼担	教授	カダチ コウイチ 神立 孝一 (64) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	人間教育論※ 創価教育論※	兼担	教授	カダチ コウイチ 神立 孝一 (65) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	人間教育論※ 創価教育論※
兼担	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (57) 〈平成30年4月〉 理学修士※	人間教育論※	兼担	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (58) 〈平成30年4月〉 理学修士※	人間教育論※	兼担	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (59) 〈平成30年4月〉 理学修士※	人間教育論※	兼担	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (60) 〈平成30年4月〉 理学修士※	人間教育論※	兼担	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (61) 〈平成30年4月〉 理学修士※	人間教育論※
兼担	教授	カザカ ジュンイチ 勘坂 純市 (53) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	創価教育論※	兼担	教授	カザカ ジュンイチ 勘坂 純市 (54) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	創価教育論※	兼担	教授	カザカ ジュンイチ 勘坂 純市 (55) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	創価教育論※	兼担	教授	カザカ ジュンイチ 勘坂 純市 (56) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	創価教育論※	兼担	教授	カザカ ジュンイチ 勘坂 純市 (57) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	創価教育論※
兼担	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (57) 〈平成30年4月〉 法学修士	創価教育論※	兼担	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (58) 〈平成30年4月〉 法学修士	創価教育論※	兼担	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (59) 〈平成30年4月〉 法学修士	創価教育論※	兼担	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (60) 〈平成30年4月〉 法学修士	創価教育論※	兼担	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (61) 〈平成30年4月〉 法学修士	創価教育論※
兼担	教授	テラニシ ヒロトキ 寺西 宏友 (61) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	人間教育論※	兼担	教授	テラニシ ヒロトキ 寺西 宏友 (62) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	人間教育論※	兼担	教授	テラニシ ヒロトキ 寺西 宏友 (63) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	人間教育論※	兼担	教授	テラニシ ヒロトキ 寺西 宏友 (64) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	人間教育論※	兼担	教授	テラニシ ヒロトキ 寺西 宏友 (65) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	人間教育論※
兼担	教授	エグチ ミツル 江口 満 (57) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (D77)	人間教育論※	兼担	教授	エグチ ミツル 江口 満 (58) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (D77)	人間教育論※	兼担	教授	エグチ ミツル 江口 満 (59) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (D77)	人間教育論※	兼担	教授	エグチ ミツル 江口 満 (60) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (D77)	人間教育論※	兼担	教授	エグチ ミツル 江口 満 (61) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Philosophy (D77)	人間教育論※

兼任	教授	ヤマト シウイチ 山本 修一 (63) 〈平成31年4月〉 理学博士	兼任	教授	ヤマト シウイチ 山本 修一 (64) 〈平成31年4月〉 理学博士	兼任	教授	ヤマト シウイチ 山本 修一 (65) 〈平成31年4月〉 理学博士	兼任	教授	ヤマト シウイチ 山本 修一 (66) 〈平成31年4月〉 理学博士	兼任	教授	ヤマト シウイチ 山本 修一 (67) 〈平成31年4月〉 理学博士
		環境科学			環境科学			環境科学			環境科学			環境科学
兼任	教授	アマカイ ヒサシ 天谷 永 (59) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	兼任	教授	アマカイ ヒサシ 天谷 永 (60) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)	兼任	教授	アマカイ ヒサシ 天谷 永 (61) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)				兼任	教授	アマカイ ヒサシ 天谷 永 (63) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)
		統計学入門※			統計学入門※			統計学入門※						統計学入門※
兼任	教授	ウダ シンイチ 牛田 伸一 (43) 〈平成30年4月〉 博士(教育学)												
		創価教育論※												
兼任	教授	アリサト リミツ 有里 典三 (62) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	アリサト リミツ 有里 典三 (63) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	アリサト リミツ 有里 典三 (64) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	アリサト リミツ 有里 典三 (65) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	アリサト リミツ 有里 典三 (66) 〈平成30年4月〉 文学修士
		自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学			自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学			自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学			自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学			自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学
兼任	教授	ヤマト タクシ 山本 忠行 (61) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	ヤマト タクシ 山本 忠行 (62) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	ヤマト タクシ 山本 忠行 (63) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	ヤマト タクシ 山本 忠行 (64) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼任	教授	ヤマト タクシ 山本 忠行 (65) 〈平成30年4月〉 文学修士
		自立学習入門※ 共通総合演習 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C			自立学習入門※ 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C			自立学習入門※ 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C			自立学習入門※ 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C			自立学習入門※ 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C
兼任	准教授	ヒガカ ヨシカ 日高 吉隆 (51) 〈平成31年4月〉 学術修士	兼任	准教授	ヒガカ ヨシカ 日高 吉隆 (52) 〈平成31年4月〉 学術修士	兼任	准教授	ヒガカ ヨシカ 日高 吉隆 (53) 〈平成31年4月〉 学術修士	兼任	准教授	ヒガカ ヨシカ 日高 吉隆 (54) 〈平成31年4月〉 学術修士	兼任	准教授	ヒガカ ヨシカ 日高 吉隆 (55) 〈平成31年4月〉 学術修士
		日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習			日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習			日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習			日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習			日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	准教授	トシカ ヒロコ 富岡 比呂子 (43) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Education (米国)	兼任	准教授	トシカ ヒロコ 富岡 比呂子 (44) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Education (米国)	兼任	准教授	トシカ ヒロコ 富岡 比呂子 (45) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Education (米国)	兼任	准教授	トシカ ヒロコ 富岡 比呂子 (46) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Education (米国)	兼任	教授	トシカ ヒロコ 富岡 比呂子 (47) 〈平成30年4月〉 Ph.D. in Education (米国)
		創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※
兼任	准教授	ドウライ ユカ 堂前 豊 (56) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ドウライ ユカ 堂前 豊 (57) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ドウライ ユカ 堂前 豊 (58) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ドウライ ユカ 堂前 豊 (59) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ドウライ ユカ 堂前 豊 (60) 〈平成30年4月〉 経済学修士※
		自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※			自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※			自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習			自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習			自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習
兼任	准教授	ヤマザキ マサル 山崎 勝 (55) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ヤマザキ マサル 山崎 勝 (56) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ヤマザキ マサル 山崎 勝 (57) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ヤマザキ マサル 山崎 勝 (58) 〈平成30年4月〉 経済学修士※	兼任	准教授	ヤマザキ マサル 山崎 勝 (59) 〈平成30年4月〉 経済学修士※
		自立学習入門※ 地域研究A			自立学習入門※ 地域研究A 共通総合演習			自立学習入門※ 地域研究A 共通総合演習			自立学習入門※ 地域研究A			自立学習入門※ 地域研究A
						兼任	講師	サライ ヒロヤ 櫻井 啓雅 (66) 〈平成31年4月〉 経済学修士	兼任	講師	サライ ヒロヤ 櫻井 啓雅 (67) 〈平成31年4月〉 経済学修士	兼任	講師	サライ ヒロヤ 櫻井 啓雅 (68) 〈平成31年4月〉 経済学修士
								共通総合演習			共通総合演習			共通総合演習
						兼任	講師	ムカサキ タケヒコ 宗像 武彦 (64) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	兼任	講師	ムカサキ タケヒコ 宗像 武彦 (65) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)	兼任	講師	ムカサキ タケヒコ 宗像 武彦 (66) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
								共通総合演習			共通総合演習			共通総合演習
兼任	准教授	ナトウ コウゾウ 内藤 耕三 (46) 〈平成30年4月〉 博士(工学)												
		体育講義B												
兼任	准教授	トウネンヨウ 董 芳勝 (46) 〈平成31年4月〉 学校教育学博士	兼任	准教授	トウネンヨウ 董 芳勝 (47) 〈平成31年4月〉 学校教育学博士	兼任	准教授	トウネンヨウ 董 芳勝 (48) 〈平成31年4月〉 学校教育学博士	兼任	准教授	トウネンヨウ 董 芳勝 (49) 〈平成31年4月〉 学校教育学博士	兼任	准教授	トウネンヨウ 董 芳勝 (50) 〈平成31年4月〉 学校教育学博士
		音楽			音楽			音楽			音楽			音楽
兼任	准教授	ヤマタ リュウジ 山田 隆司 (54) 〈平成30年4月〉 博士(法学)	兼任	准教授	ヤマタ リュウジ 山田 隆司 (55) 〈平成30年4月〉 博士(法学)	兼任	教授	ヤマタ リュウジ 山田 隆司 (56) 〈平成30年4月〉 博士(法学)	兼任	教授	ヤマタ リュウジ 山田 隆司 (57) 〈平成30年4月〉 博士(法学)	兼任	教授	ヤマタ リュウジ 山田 隆司 (58) 〈平成30年4月〉 博士(法学)
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
兼任	准教授	ナカダ タケイ 中田 大悟 (43) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	兼任	准教授	ナカダ タケイ 中田 大悟 (44) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)									
		統計学入門※			統計学入門※									

兼担	准教授	マエダ ユキオ 前田 幸男 (42) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	准教授	マエダ ユキオ 前田 幸男 (43) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	教授	マエダ ユキオ 前田 幸男 (44) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	教授	マエダ ユキオ 前田 幸男 (45) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼担	教授	マエダ ユキオ 前田 幸男 (46) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	
		政治学			政治学			政治学			政治学			政治学	
兼担	准教授	ウスイ タツヒコ 碓井 健寛 (43) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	ウスイ タツヒコ 碓井 健寛 (44) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	ウスイ タツヒコ 碓井 健寛 (45) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	ウスイ タツヒコ 碓井 健寛 (46) 〈平成30年4月〉 博士(経済学)				
		統計学入門※			統計学入門※			統計学入門※			統計学入門※				
兼担	准教授	マエガワ ケンイチ 前川 健一 (48) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	准教授	マエガワ ケンイチ 前川 健一 (49) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	マエガワ ケンイチ 前川 健一 (50) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	マエガワ ケンイチ 前川 健一 (51) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼担	教授	マエガワ ケンイチ 前川 健一 (52) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	
		日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)			日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)			日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)			日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)			日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)	
兼担	准教授	カノウ ナオキ 加納 直幸 (59) 〈平成30年4月〉 経済学修士	兼担	准教授	カノウ ナオキ 加納 直幸 (60) 〈平成30年4月〉 経済学修士	兼担	准教授	カノウ ナオキ 加納 直幸 (61) 〈平成30年4月〉 経済学修士	兼担	准教授	カノウ ナオキ 加納 直幸 (62) 〈平成30年4月〉 経済学修士	兼担	准教授	カノウ ナオキ 加納 直幸 (63) 〈平成30年4月〉 経済学修士	
		人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習			人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習			人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習			人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習			人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習	
兼担	准教授	マツモリ ヒデユキ 松森 秀幸 (38) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	兼担	准教授	マツモリ ヒデユキ 松森 秀幸 (39) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	兼担	准教授	マツモリ ヒデユキ 松森 秀幸 (40) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	兼担	准教授	マツモリ ヒデユキ 松森 秀幸 (41) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	兼担	准教授	マツモリ ヒデユキ 松森 秀幸 (42) 〈平成30年4月〉 博士(人文学)	
		卒業研究AⅡ(哲学・歴史学) ※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史			卒業研究AⅡ(哲学・歴史学) ※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史			卒業研究AⅡ(哲学・歴史学) ※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史			卒業研究AⅡ(哲学・歴史学) ※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史			卒業研究AⅡ(哲学・歴史学) ※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史	
兼担	准教授	ヒライ ヤスキ 平井 康章 (58) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼担	准教授	ヒライ ヤスキ 平井 康章 (59) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼担	准教授	ヒライ ヤスキ 平井 康章 (60) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼担	准教授	ヒライ ヤスキ 平井 康章 (61) 〈平成30年4月〉 文学修士	兼担	准教授	ヒライ ヤスキ 平井 康章 (62) 〈平成30年4月〉 文学修士	
		自立学習入門※ 共通総合演習			自立学習入門※ 共通総合演習			自立学習入門※ 共通総合演習			自立学習入門※ 共通総合演習			自立学習入門※ 共通総合演習	
兼担	准教授	ダニエル ヒロシ ササキ Daniel Hiroshi Sasaki (41) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	准教授	ダニエル ヒロシ ササキ Daniel Hiroshi Sasaki (42) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	准教授	ダニエル ヒロシ ササキ Daniel Hiroshi Sasaki (43) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	准教授	ダニエル ヒロシ ササキ Daniel Hiroshi Sasaki (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	准教授	ダニエル ヒロシ ササキ Daniel Hiroshi Sasaki (45) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ			英会話Ⅰ			英会話Ⅰ	
兼担	講師	カガチ タカヒロ 坂口 貴弘 (37) 〈平成30年4月〉 博士(アーカイブス学)	兼担	講師	カガチ タカヒロ 坂口 貴弘 (38) 〈平成30年4月〉 博士(アーカイブス学)	兼担	講師	カガチ タカヒロ 坂口 貴弘 (39) 〈平成30年4月〉 博士(アーカイブス学)	兼担	講師	カガチ タカヒロ 坂口 貴弘 (40) 〈平成30年4月〉 博士(アーカイブス学)	兼担	講師	カガチ タカヒロ 坂口 貴弘 (41) 〈平成30年4月〉 博士(アーカイブス学)	
		創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※	
兼担	講師	コウ ケニツ 黄 國光 (59) 〈平成30年4月〉 博士(工学)	兼担	講師	コウ ケニツ 黄 國光 (60) 〈平成30年4月〉 博士(工学)	兼担	講師	コウ ケニツ 黄 國光 (61) 〈平成30年4月〉 博士(工学)	兼担	講師	コウ ケニツ 黄 國光 (62) 〈平成30年4月〉 博士(工学)	兼担	講師	コウ ケニツ 黄 國光 (63) 〈平成30年4月〉 博士(工学)	
		自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー プログラミング 共通総合演習			自立学習入門※ 共通総合演習			自立学習入門※ 共通総合演習			自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー 共通総合演習			自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー 共通総合演習	
兼担	講師	カイマ タダシ 開沼 正 (54) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	講師	カイマ タダシ 開沼 正 (55) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	講師	カイマ タダシ 開沼 正 (56) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	講師	カイマ タダシ 開沼 正 (57) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	兼担	講師	カイマ タダシ 開沼 正 (58) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	
		自立学習入門※ 歴史※			自立学習入門※ 歴史※			自立学習入門※ 歴史※			自立学習入門※ 歴史※			自立学習入門※ 歴史※	
兼担	講師	デイビッド マルコム ダウガティ David MalcolmDaugherty (52) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	講師	デイビッド マルコム ダウガティ David MalcolmDaugherty (53) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	講師	デイビッド マルコム ダウガティ David MalcolmDaugherty (54) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	講師	デイビッド マルコム ダウガティ David MalcolmDaugherty (55) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	兼担	講師	デイビッド マルコム ダウガティ David MalcolmDaugherty (56) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米国)	
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	
兼担	講師	ジョン ジェームス バンキア John James Bankier (36) 〈平成31年4月〉 Master of Science in Education (米国)	兼担	講師	ジョン ジェームス バンキア John James Bankier (37) 〈平成31年4月〉 Master of Science in Education (米国)										
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ										
兼担	講師	ジョナサン ボリック BOLICK Jonathan (53) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in TESOL (米国)	兼担	講師	ジョナサン ボリック BOLICK Jonathan (54) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in TESOL (米国)	兼担	講師	ジョナサン ボリック BOLICK Jonathan (53) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in TESOL (米国)	兼担	講師	ジョナサン ボリック BOLICK Jonathan (54) 〈平成31年4月〉 Master of Arts in TESOL (米国)				
		英会話Ⅰ			英会話Ⅰ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ				
兼担	講師	スティーブン ジーン モーガン Steven Gene Morgan (62) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Arts & Sciences (米国)	兼担	講師	スティーブン ジーン モーガン Steven Gene Morgan (63) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Arts & Sciences (米国)	兼担	講師	スティーブン ジーン モーガン Steven Gene Morgan (64) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy in Arts & Sciences (米国)							
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			英会話Ⅰ			英会話Ⅰ				

兼任	講師	コノ テツロ 河野 哲宏 (33) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	イカ リョウコ 居阪 僚子 (33) 〈平成32年4月〉 修士(学術)※	中央ユーラシア史
兼任	講師	オハラ ノブマサ 大原 信正 (34) 〈平成32年4月〉 博士(史学)	東洋文化史
兼任	講師	ナカヤ サトル 中谷 聡 (43) 〈平成31年4月〉 修士(新聞学)※	ジャーナリズムの社会学
兼任	講師	ノリキ ヒロコ 法貴 寿子 (56) 〈平成30年4月〉 経済学修士	日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	ムラカミ マサヒコ 村上 政彦 (58) 〈平成30年4月〉 高等学校卒(大学中退)	表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	ヒラノ スナエ 平良 直 (52) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	宗教社会学 現代宗教の社会学
兼任	講師	カシワバ ヒロコ 上川 多恵子 (32) 〈平成31年4月〉 修士(言語教育情報学)	日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	トウガ アキコ 東田 明希子 (38) 〈平成31年4月〉 修士(日本語教育学)	日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	サキハラ ヨシコ 荻原 陽子 (31) 〈平成32年4月〉 学士(経営学)	日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	タムラ マサタカ 田村 正孝 (40) 〈平成32年4月〉 博士(文学)	古文書学
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江 (65) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学
兼任	講師	オオカミ タカシキ 大上 忠幸 (45) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 異文化コミュニケーション入門 対照言語学
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也 (59) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ

兼任	講師	コノ テツロ 河野 哲宏 (34) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	イカ リョウコ 居阪 僚子 (34) 〈平成32年4月〉 修士(学術)※	中央ユーラシア史
兼任	講師	オハラ ノブマサ 大原 信正 (35) 〈平成32年4月〉 博士(史学)	東洋文化史
兼任	講師	ナカヤ サトル 中谷 聡 (44) 〈平成31年4月〉 修士(新聞学)※	ジャーナリズムの社会学
兼任	講師	ノリキ ヒロコ 法貴 寿子 (57) 〈平成30年4月〉 経済学修士	日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	ムラカミ マサヒコ 村上 政彦 (59) 〈平成30年4月〉 高等学校卒(大学中退)	表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	ヒラノ スナエ 平良 直 (53) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	宗教社会学 現代宗教の社会学
兼任	講師	カシワバ ヒロコ 上川 多恵子 (33) 〈平成31年4月〉 修士(言語教育情報学)	日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	トウガ アキコ 東田 明希子 (39) 〈平成31年4月〉 修士(日本語教育学)	日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	サキハラ ヨシコ 荻原 陽子 (32) 〈平成32年4月〉 学士(経営学)	日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	タムラ マサタカ 田村 正孝 (41) 〈平成32年4月〉 博士(文学)	古文書学
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江 (66) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学
兼任	講師	オオカミ タカシキ 大上 忠幸 (46) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 異文化コミュニケーション入門 対照言語学
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也 (59) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ

兼任	講師	コノ テツロ 河野 哲宏 (35) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	イカ リョウコ 居阪 僚子 (35) 〈平成32年4月〉 修士(学術)※	中央ユーラシア史
兼任	講師	オハラ ノブマサ 大原 信正 (36) 〈平成32年4月〉 博士(史学)	東洋文化史
兼任	講師	ナカヤ サトル 中谷 聡 (45) 〈平成31年4月〉 修士(新聞学)※	ジャーナリズムの社会学
兼任	講師	ノリキ ヒロコ 法貴 寿子 (58) 〈平成30年4月〉 経済学修士	日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	ムラカミ マサヒコ 村上 政彦 (60) 〈平成30年4月〉 高等学校卒(大学中退)	表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	ヒラノ スナエ 平良 直 (54) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	宗教社会学 現代宗教の社会学
兼任	講師	カシワバ ヒロコ 上川 多恵子 (34) 〈平成31年4月〉 修士(言語教育情報学)	日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	トウガ アキコ 東田 明希子 (40) 〈平成31年4月〉 修士(日本語教育学)	日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	サキハラ ヨシコ 荻原 陽子 (33) 〈平成32年4月〉 学士(経営学)	日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	タムラ マサタカ 田村 正孝 (42) 〈平成32年4月〉 博士(文学)	古文書学
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江 (67) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学
兼任	講師	オオカミ タカシキ 大上 忠幸 (47) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	異文化コミュニケーション入門 対照言語学 日本語文法Ⅱ
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也 (61) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ

兼任	講師	コノ テツロ 河野 哲宏 (36) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	イカ リョウコ 居阪 僚子 (36) 〈平成32年4月〉 修士(学術)※	中央ユーラシア史
兼任	講師	オハラ ノブマサ 大原 信正 (37) 〈平成32年4月〉 博士(史学)	東洋文化史
兼任	講師	ナカヤ サトル 中谷 聡 (46) 〈平成31年4月〉 修士(新聞学)※	ジャーナリズムの社会学
兼任	講師	ノリキ ヒロコ 法貴 寿子 (59) 〈平成30年4月〉 経済学修士	日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	ムラカミ マサヒコ 村上 政彦 (61) 〈平成30年4月〉 高等学校卒(大学中退)	表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	ヒラノ スナエ 平良 直 (55) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	宗教社会学 現代宗教の社会学
兼任	講師	カシワバ ヒロコ 上川 多恵子 (35) 〈平成31年4月〉 修士(言語教育情報学)	日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	トウガ アキコ 東田 明希子 (41) 〈平成31年4月〉 修士(日本語教育学)	日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	サキハラ ヨシコ 荻原 陽子 (34) 〈平成32年4月〉 学士(経営学)	日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	タムラ マサタカ 田村 正孝 (43) 〈平成32年4月〉 博士(文学)	古文書学
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江 (68) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	人間教育論※ 総合科目A 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学
兼任	講師	オオカミ タカシキ 大上 忠幸 (48) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	日本語文法Ⅱ
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也 (62) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ

兼任	講師	コノ テツロ 河野 哲宏 (37) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	イカ リョウコ 居阪 僚子 (37) 〈平成32年4月〉 修士(学術)※	中央ユーラシア史
兼任	講師	オハラ ノブマサ 大原 信正 (38) 〈平成32年4月〉 博士(史学)	東洋文化史
兼任	講師	ナカヤ サトル 中谷 聡 (47) 〈平成31年4月〉 修士(新聞学)※	ジャーナリズムの社会学
兼任	講師	ノリキ ヒロコ 法貴 寿子 (60) 〈平成30年4月〉 経済学修士	日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	ムラカミ マサヒコ 村上 政彦 (62) 〈平成30年4月〉 高等学校卒(大学中退)	表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	ヒラノ スナエ 平良 直 (56) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	宗教社会学 現代宗教の社会学
兼任	講師	カシワバ ヒロコ 上川 多恵子 (36) 〈平成31年4月〉 修士(言語教育情報学)	日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	トウガ アキコ 東田 明希子 (42) 〈平成31年4月〉 修士(日本語教育学)	日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習※
兼任	講師	サキハラ ヨシコ 荻原 陽子 (35) 〈平成32年4月〉 学士(経営学)	日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	タムラ マサタカ 田村 正孝 (44) 〈平成32年4月〉 博士(文学)	古文書学
兼任	講師	クリハラ トシエ 栗原 淑江 (69) 〈平成30年4月〉 博士(社会学)	人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学
兼任	講師	オオカミ タカシキ 大上 忠幸 (49) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	対照言語学 日本語文法Ⅱ 卒業研究B(異文化コミュニケーション)
兼任	講師	ヤマザキ タツヤ 山崎 達也 (63) 〈平成30年4月〉 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ

兼任	講師	ワカ ミヅジ 和田 光司 (58) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼任	講師	ワカ ミヅジ 和田 光司 (59) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼任	講師	ワカ ミヅジ 和田 光司 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼任	講師	ワカ ミヅジ 和田 光司 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼任	講師	ワカ ミヅジ 和田 光司 (62) 〈平成31年4月〉 文学修士※
		西洋史概説 I 西洋史概説 II			西洋史概説 I 西洋史概説 II			西洋史概説 I 西洋史概説 II			西洋史概説 I 西洋史概説 II			西洋史概説 I 西洋史概説 II
兼任	講師	アヲ ヲリコ 荒 友里子 (30) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)	兼任	講師	アヲ ヲリコ 荒 友里子 (31) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)	兼任	講師	アヲ ヲリコ 荒 友里子 (32) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)	兼任	講師	アヲ ヲリコ 荒 友里子 (33) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)	兼任	講師	アヲ ヲリコ 荒 友里子 (34) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)
		考古学概論			考古学概論			考古学概論			考古学概論			考古学概論
兼任	講師	タケガキ アキコ 武田 亜希子 (44) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	タケガキ アキコ 武田 亜希子 (45) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	タケガキ アキコ 武田 亜希子 (46) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	タケガキ アキコ 武田 亜希子 (47) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	タケガキ アキコ 武田 亜希子 (48) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B			英語 I A 英語 II A 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II A			英語 I A 英語 I B 英語 II A			英語 I A 英語 I B 英語 II A
兼任	講師	ハサマ トシユキ 狭間 敏行 (41) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	ハサマ トシユキ 狭間 敏行 (42) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	ハサマ トシユキ 狭間 敏行 (43) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	ハサマ トシユキ 狭間 敏行 (44) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)	兼任	講師	ハサマ トシユキ 狭間 敏行 (45) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)
		英語 I A 英語 I B 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II B
兼任	講師	スキタ タカノリ 杉田 高則 (69) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スキタ タカノリ 杉田 高則 (70) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スキタ タカノリ 杉田 高則 (71) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スキタ タカノリ 杉田 高則 (72) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スキタ タカノリ 杉田 高則 (73) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※
		英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B
兼任	講師	スズキ ミツル 鈴木 光晴 (36) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スズキ ミツル 鈴木 光晴 (37) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スズキ ミツル 鈴木 光晴 (38) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スズキ ミツル 鈴木 光晴 (39) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	スズキ ミツル 鈴木 光晴 (40) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※
		英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B
兼任	講師	オシロ エリカ 大城 恵理華 (45) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	オシロ エリカ 大城 恵理華 (46) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	オシロ エリカ 大城 恵理華 (47) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	オシロ エリカ 大城 恵理華 (48) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※	兼任	講師	オシロ エリカ 大城 恵理華 (49) 〈平成30年4月〉 修士 (文学)※
		英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B
兼任	講師	スズキ ノリコ 鈴木 法子 (33) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)※	兼任	講師	スズキ ノリコ 鈴木 法子 (34) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)※	兼任	講師	スズキ ノリコ 鈴木 法子 (35) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)※	兼任	講師	スズキ ノリコ 鈴木 法子 (36) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)※	兼任	講師	スズキ ノリコ 鈴木 法子 (37) 〈平成30年4月〉 修士 (英文学)※
		英語 I B 英語 II B			英語 I B 英語 II B			英語 I B 英語 II B			英語 I B 英語 II B			英語 I B 英語 II B
兼任	講師	ミヤザキ サカ 宮崎 さやか (35) 〈平成31年4月〉 修士 (英文学)※	兼任	講師	ミヤザキ サカ 宮崎 さやか (36) 〈平成31年4月〉 修士 (英文学)※	兼任	講師	ミヤザキ サカ 宮崎 さやか (37) 〈平成31年4月〉 修士 (英文学)※						
		英語 II B			英語 II B			英語 II B						
兼任	講師	デルバート カン Delbert Kern (68) 〈平成31年4月〉 Master of Education in TESOL (米国)	兼任	講師	デルバート カン Delbert Kern (69) 〈平成31年4月〉 Master of Education in TESOL (米国)	兼任	講師	デルバート カン Delbert Kern (70) 〈平成31年4月〉 Master of Education in TESOL (米国)						
		英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II						
兼任	講師	イケガワ ヒロシ 池川 博 (69) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	イケガワ ヒロシ 池川 博 (70) 〈平成31年4月〉 文学士									
		ドイツ語 A ドイツ語 B			ドイツ語 A ドイツ語 B									
兼任	講師	オカムラ ノリコ 岡村 能里子 (67) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語)	兼任	講師	オカムラ ノリコ 岡村 能里子 (68) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語)	兼任	講師	オカムラ ノリコ 岡村 能里子 (69) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語)	兼任	講師	オカムラ ノリコ 岡村 能里子 (70) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語)	兼任	講師	オカムラ ノリコ 岡村 能里子 (71) 〈平成31年4月〉 修士 (フランス語)
		フランス語 A フランス語 B			フランス語 A フランス語 B			フランス語 A フランス語 B			フランス語 A フランス語 B			フランス語 A フランス語 B
兼任	講師	フクシマ ユキ 封 睿 (49) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)	兼任	講師	フクシマ ユキ 封 睿 (50) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)	兼任	講師	フクシマ ユキ 封 睿 (51) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)	兼任	講師	フクシマ ユキ 封 睿 (52) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)	兼任	講師	フクシマ ユキ 封 睿 (53) 〈平成31年4月〉 修士 (教育学)
		中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II
兼任	講師	ソト メヒ7 マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (32) 〈平成31年4月〉 Master in Spanish (米国)	兼任	講師	ソト メヒ7 マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (33) 〈平成31年4月〉 Master in Spanish (米国)	兼任	講師	ソト メヒ7 マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (34) 〈平成31年4月〉 Master in Spanish (米国)	兼任	講師	ソト メヒ7 マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (35) 〈平成31年4月〉 Master in Spanish (米国)	兼任	講師	ソト メヒ7 マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (36) 〈平成31年4月〉 Master in Spanish (米国)
		スペイン語 B			スペイン語 B			スペイン語 B			スペイン語 B			スペイン語 B
兼任	講師	ヘクウ カンゾウ 白 恩正 (43) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ヘクウ カンゾウ 白 恩正 (44) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ヘクウ カンゾウ 白 恩正 (45) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ヘクウ カンゾウ 白 恩正 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ヘクウ カンゾウ 白 恩正 (47) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)
		ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II			ハングル I
兼任	講師	マサダ ユキ 町田 小雪 (52) 〈平成31年4月〉 文学修士 (韓国)※	兼任	講師	マサダ ユキ 町田 小雪 (53) 〈平成31年4月〉 文学修士 (韓国)※	兼任	講師	マサダ ユキ 町田 小雪 (54) 〈平成31年4月〉 文学修士 (韓国)※	兼任	講師	マサダ ユキ 町田 小雪 (55) 〈平成31年4月〉 文学修士 (韓国)※	兼任	講師	マサダ ユキ 町田 小雪 (56) 〈平成31年4月〉 文学修士 (韓国)※
		ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II			ハングル I ハングル II

兼任	講師	材カ 1材 大塚 由紀夫 (65) 〈平成31年4月〉 学士 (音楽)	兼任	講師	材カ 1材 大塚 由紀夫 (66) 〈平成31年4月〉 学士 (音楽)	兼任	講師	材カ 1材 大塚 由紀夫 (67) 〈平成31年4月〉 学士 (音楽)	兼任	講師	材カ 1材 大塚 由紀夫 (68) 〈平成31年4月〉 学士 (音楽)	兼任	講師	材カ 1材 大塚 由紀夫 (69) 〈平成31年4月〉 学士 (音楽)
		音楽			音楽			音楽			音楽			音楽
兼任	講師	カマ カコ 佐久間 愛子 (36) 〈平成31年4月〉 修士 (芸術学)												
		美術												
兼任	講師	ミカ シンイ 宮川 真一 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ミカ シンイ 宮川 真一 (50) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ミカ シンイ 宮川 真一 (51) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ミカ シンイ 宮川 真一 (52) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)	兼任	講師	ミカ シンイ 宮川 真一 (53) 〈平成31年4月〉 博士 (社会学)
		社会学 I			社会学 I			社会学 I			社会学 I			社会学 I
兼任	講師	フジカ ユウジ 藤岡 祐次郎 (61) 〈平成31年4月〉 法学修士※	兼任	講師	フジカ ユウジ 藤岡 祐次郎 (62) 〈平成31年4月〉 法学修士※	兼任	講師	フジカ ユウジ 藤岡 祐次郎 (63) 〈平成31年4月〉 法学修士※	兼任	講師	フジカ ユウジ 藤岡 祐次郎 (64) 〈平成31年4月〉 法学修士※	兼任	講師	フジカ ユウジ 藤岡 祐次郎 (65) 〈平成31年4月〉 法学修士※
		政治学			政治学			政治学			政治学			政治学
兼任	講師	イ ファジオン 李 和貞 (44) 〈平成30年4月〉 修士 (人文)※	兼任	講師	イ ファジオン 李 和貞 (45) 〈平成30年4月〉 修士 (人文)※	兼任	講師	イ ファジオン 李 和貞 (46) 〈平成30年4月〉 修士 (人文)※	兼任	講師	イ ファジオン 李 和貞 (47) 〈平成30年4月〉 修士 (人文)※	兼任	講師	イ ファジオン 李 和貞 (48) 〈平成30年4月〉 修士 (人文)※
		心理学※			心理学※			心理学※			心理学※			心理学※
兼任	講師	ヤマグチ カミ 山口 勝己 (68) 〈平成30年4月〉 教育学修士	兼任	講師	ヤマグチ カミ 山口 勝己 (69) 〈平成30年4月〉 教育学修士	兼任	講師	ヤマグチ カミ 山口 勝己 (70) 〈平成30年4月〉 教育学修士	兼任	講師	ヤマグチ カミ 山口 勝己 (71) 〈平成30年4月〉 教育学修士	兼任	講師	ヤマグチ カミ 山口 勝己 (72) 〈平成30年4月〉 教育学修士
		心理学※			心理学※			心理学※			心理学※			心理学※
兼任	講師	イトウ シズミ 遠藤 美純 (46) 〈平成31年4月〉 修士 (社会学)※	兼任	講師	イトウ シズミ 遠藤 美純 (47) 〈平成31年4月〉 修士 (社会学)※									
		コンピュータ・リテラシー プログラミング			コンピュータ・リテラシー プログラミング									
兼任	講師	ヨイ カン 横井 隆志 (36) 〈平成31年4月〉 修士 (大学アドミニスト レーション)※	兼任	講師	ヨイ カン 横井 隆志 (37) 〈平成31年4月〉 修士 (大学アドミニスト レーション)※	兼任	講師	ヨイ カン 横井 隆志 (38) 〈平成31年4月〉 修士 (大学アドミニスト レーション)※	兼任	講師	ヨイ カン 横井 隆志 (39) 〈平成31年4月〉 修士 (大学アドミニスト レーション)※	兼任	講師	ヨイ カン 横井 隆志 (40) 〈平成31年4月〉 修士 (大学アドミニスト レーション)※
		コンピュータ・リテラシー プログラミング			コンピュータ・リテラシー プログラミング			コンピュータ・リテラシー プログラミング			コンピュータ・リテラシー プログラミング			コンピュータ・リテラシー プログラミング
						兼任	講師	ヨシダ マサ 吉田 勝郎 (34) 〈平成31年4月〉 修士 (工学)	兼任	講師	ヨシダ マサ 吉田 勝郎 (35) 〈平成31年4月〉 修士 (工学)	兼任	講師	ヨシダ マサ 吉田 勝郎 (36) 〈平成31年4月〉 修士 (工学)
								コンピュータ・リテラシー			コンピュータ・リテラシー			コンピュータ・リテラシー
兼任	講師	フカイ アキコ 福井 朗子 (39) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	フカイ アキコ 福井 朗子 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	フカイ アキコ 福井 朗子 (41) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	フカイ アキコ 福井 朗子 (42) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	兼任	講師	フカイ アキコ 福井 朗子 (43) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)
		環境科学			環境科学			環境科学			環境科学			環境科学
兼任	講師	コハヤシ マサヒロ 小林 正博 (66) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	コハヤシ マサヒロ 小林 正博 (67) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	コハヤシ マサヒロ 小林 正博 (68) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	コハヤシ マサヒロ 小林 正博 (69) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)	兼任	講師	コハヤシ マサヒロ 小林 正博 (70) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)
		歴史※			歴史※			歴史※			歴史※			歴史※
						兼任	講師	オカウ ユウジ 小倉 裕児 (66) 〈平成31年4月〉 社会学修士	兼任	講師	オカウ ユウジ 小倉 裕児 (67) 〈平成31年4月〉 社会学修士	兼任	講師	オカウ ユウジ 小倉 裕児 (68) 〈平成31年4月〉 社会学修士
								歴史※			歴史※			歴史※
兼任	講師	ホノマ ショコ 本間 佳子 (57) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	ホノマ ショコ 本間 佳子 (58) 〈平成30年4月〉 法学修士	兼任	講師	ホノマ ショコ 本間 佳子 (59) 〈平成30年4月〉 法学修士						
		総合科目 A			総合科目 A			総合科目 A						
兼任	講師	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (35) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)	兼任	講師	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (36) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)	兼任	講師	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (37) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)	兼任	助教	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (38) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)	兼任	助教	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (39) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)
		創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※
兼任	講師	ネト マサヒト 根本 正史 (61) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)	兼任	講師	ネト マサヒト 根本 正史 (62) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)	兼任	講師	ネト マサヒト 根本 正史 (63) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)	兼任	講師	ネト マサヒト 根本 正史 (64) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)	兼任	講師	ネト マサヒト 根本 正史 (65) 〈平成30年4月〉 博士 (医学)
		生命科学			生命科学			生命科学			生命科学			生命科学
兼任	講師	アレクサンダー チェーンサイド Alexander Chirnside (61) 〈平成31年4月〉 Master of Education in Educational Technology and TESOL (米国)	兼任	講師	アレクサンダー チェーンサイド Alexander Chirnside (62) 〈平成31年4月〉 Master of Education in Educational Technology and TESOL (米国)	兼任	講師	アレクサンダー チェーンサイド Alexander Chirnside (63) 〈平成31年4月〉 Master of Education in Educational Technology and TESOL (米国)	兼任	講師	アレクサンダー チェーンサイド Alexander Chirnside (64) 〈平成31年4月〉 Master of Education in Educational Technology and TESOL (米国)	兼任	講師	アレクサンダー チェーンサイド Alexander Chirnside (65) 〈平成31年4月〉 Master of Education in Educational Technology and TESOL (米国)
		英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I

兼任	講師	カハ' ショ 川辺 妙子 (34) Master of Arts (Comparative Literature) (フイリビ'ン) ※												
		英語 I B												
兼任	講師	クマ' ショ 熊田 岐子 (40) 博士 (教育学)	兼任	講師	クマ' ショ 熊田 岐子 (41) 博士 (教育学)	兼任	講師	クマ' ショ 熊田 岐子 (42) 博士 (教育学)	兼任	講師	クマ' ショ 熊田 岐子 (43) 博士 (教育学)	兼任	講師	クマ' ショ 熊田 岐子 (44) 博士 (教育学)
		英語 I B			英語 I B			英語 I B			英語 I B			
兼任	講師	タカ ミツル 田中 光晴 (35) 博士 (教育学)	兼任	講師	タカ ミツル 田中 光晴 (36) 博士 (教育学)									
		ハングル II			ハングル II									
兼任	講師	ハバ' シゲキ 馬場 茂樹 (70) 社会学修士	兼任	講師	ハバ' シゲキ 馬場 茂樹 (71) 社会学修士									
		家族の社会学			家族の社会学									
						兼任	講師	サトリ ジュンコ 佐藤 順子 (43) 博士 (社会学)	兼任	講師	サトリ ジュンコ 佐藤 順子 (44) 博士 (社会学)	兼任	講師	サトリ ジュンコ 佐藤 順子 (45) 博士 (社会学)
								家族の社会学			家族の社会学		家族の社会学	
兼任	講師	ワ' コウイチ 和田 光一 (67) 文学修士	兼任	講師	ワ' コウイチ 和田 光一 (68) 文学修士	兼任	講師	ワ' コウイチ 和田 光一 (69) 文学修士	兼任	講師	ワ' コウイチ 和田 光一 (70) 文学修士	兼任	講師	ワ' コウイチ 和田 光一 (71) 文学修士
		児童福祉論			児童福祉論			児童福祉論			児童福祉論		児童福祉論	
			兼任	講師	ウエダ' ヒロカズ 上田 宏和 (35) 博士 (法学)	兼任	講師	ウエダ' ヒロカズ 上田 宏和 (36) 博士 (法学)	兼任	講師	ウエダ' ヒロカズ 上田 宏和 (37) 博士 (法学)	兼任	講師	ウエダ' ヒロカズ 上田 宏和 (38) 博士 (法学)
					日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法		日本国憲法	
			兼任	講師	タカ ユミ 高田 裕美 (42) 文学修士 (文学)									
					心理学※									
			兼任	講師	タカ シュンイチ 鷹尾 俊一 (68) 高等学校卒 (大学中退)	兼任	講師	タカ シュンイチ 鷹尾 俊一 (69) 高等学校卒 (大学中退)	兼任	講師	タカ シュンイチ 鷹尾 俊一 (70) 高等学校卒 (大学中退)	兼任	講師	タカ シュンイチ 鷹尾 俊一 (71) 高等学校卒 (大学中退)
					美術			美術			美術		美術	
			兼任	講師	エンドウ リカ 遠藤 李華 (26) 文学修士 (文学)	兼任	講師	エンドウ リカ 遠藤 李華 (27) 文学修士 (文学)	兼任	助教	エンドウ リカ 遠藤 李華 (28) 文学修士 (文学)	兼任	助教	エンドウ リカ 遠藤 李華 (29) 文学修士 (文学)
					日本語コミュニケーション論			日本語コミュニケーション論			日本語コミュニケーション論		日本語コミュニケーション論	
									兼任	講師	レイモンド ヤスダ (43) 令和2年4月 修士 (教育学)	兼任	講師	レイモンド ヤスダ (44) 令和2年4月 修士 (教育学)
											英会話 I 英会話 II		英会話 I 英会話 II	
									兼任	講師	ヨコヤマ ユカ 横山 ゆか (39) 令和2年4月 修士 (文学)	兼任	講師	ヨコヤマ ユカ 横山 ゆか (40) 令和2年4月 修士 (文学)
											ドイツ語 A ドイツ語 B		ドイツ語 A ドイツ語 B	
									兼任	教授	リン 李 燕 (66) 令和2年4月 教育学修士			
											中国語 I			
									兼任	講師	ヤッシン サベック (33) 令和2年4月 Master in Spanish (モロッコ)	兼任	講師	ヤッシン サベック (34) 令和2年4月 Master in Spanish (モロッコ)
											スペイン語 B		スペイン語 B	
									兼任	教授	ヒラノ ユカリ 平林 香織 (60) 令和2年4月 博士 (文学)	兼任	教授	ヒラノ ユカリ 平林 香織 (61) 令和2年4月 博士 (文学)
											文学 A		文学 A	
									兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一 (72) 令和2年4月 理学士	兼任	講師	アベ リュウイチ 阿部 隆一 (73) 令和2年4月 理学士
											数学基礎		数学基礎	
									兼任	准教授	サカモト タカキ 佐久間 貴之 (39) 令和2年4月 博士 (経営学)	兼任	准教授	サカモト タカキ 佐久間 貴之 (40) 令和2年4月 博士 (経営学)
											統計学入門		統計学入門	

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・伊藤貴雄教授（専任）が体調不良で本人の負担軽減のため、創価教育論の担当を解除。創価教育論（オムニバス）は他に該当コマの担当教員が1名いるため支障なし。
- ・蝶名林亮講師（兼任）が本人の負担軽減のため、創価教育論の担当を解除。創価教育論（オムニバス）は他に該当コマの担当教員が2名いるため支障なし。
- ・牛田伸一教授（兼任）が本人の負担軽減のため、創価教育論の担当を解除。創価教育論（オムニバス）は他に該当コマの担当教員が1名いるため支障なし。
- ・山本忠行教授（兼任）が本人の負担軽減のため、共通総合演習の担当を辞退。共通総合演習は、以下の通り、他の担当教員を追加し、8名の担当となるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、共通総合演習のスクーリング開講数を増やしたことより、山崎勝准教授（兼任）、加納直幸准教授（兼任）、平井康章准教授（兼任）、清水百合香講師（兼任）が追加で担当。
- ・内藤耕三准教授（兼任）が本人の負担軽減のため、体育講義Bの担当を解除。体育講義Bは、他に担当教員がいるため支障なし。
- ・碓井健寛准教授（兼任）が平成30年4月より教授に昇任。
- ・黄國光講師（兼任）が都合により、コンピュータリテラシーの担当を解除。コンピュータリテラシーは他に担当教員が3名いるため支障なし。
- ・黄國光講師（兼任）が都合により、プログラミングの担当を解除。プログラミングは他に担当教員が3名いるため支障なし。
- ・法貴寿子講師（兼任）が平成30年4月より准教授（兼任）に就任。
- ・武田亜希子講師（兼任）が都合により、英語I Bの担当を解除。英語I Bは他に担当教員が7名いるため支障なし。
- ・佐久間愛子講師（兼任）が都合により、美術の担当を辞退。辞退に伴い鷹尾俊一講師（兼任）を追加し、美術を担当（平成31年度就任）。
- ・川辺妙子講師（兼任）が都合により、英語I Bの担当を解除。英語I Bは他に担当教員が7名いるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、上田宏和講師（兼任）を追加し、日本国憲法を担当。
- ・教育課程の充実を図るため、高田裕美講師（兼任）を追加し、心理学を担当。
- ・寒河江教授、村上教授、渋谷教授の職位変更。平成30年8月教員審査済。

【令和元年度】

- ・坂本幹雄教授（兼任）がスクーリングの日程重複のため、自立学習入門の担当を解除。自立学習入門は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・高橋強教授（専任）が負担軽減のため、自立学習入門の担当を解除。清水強志准教授（専任）を追加し担当、平成30年12月に教員審査済。
- ・武田亜希子講師（兼任）が英語II Bの受講者減少のため担当を解除し、英語I Bの担当を追加。英語II Bは他に担当教員が4名いるため支障なし。
- ・バンキア講師（兼任）が都合により、英会話Iの担当を解除。ジョナサン・ポリック講師（兼任）を追加。
- ・バンキア講師（兼任）、S・モーガン講師（兼任）、ダニエル・ヒロシ・ササキ講師（兼任）が都合により、英会話IIの担当を解除。S・ブルース講師（兼任）を追加。
- ・池川博講師（兼任）が都合により、ドイツ語A、ドイツ語Bの担当を解除。受講者数少数のため、田中亮平教授（専任）のみで支障なし。
- ・大上忠幸講師（兼任）が都合により、中国語I、中国語IIの担当を解除。中国語Iは佐藤素子准教授（兼任）を追加。中国語IIは他に担当者が2名いるため支障なし。
- ・田中光晴講師（兼任）が都合により、ハンブルグIIの担当を解除。ハンブルグIIは他に担当者が3名いるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、小倉裕児講師（兼任）を追加し、歴史を担当。
- ・犬塚正智教授（兼任）が都合により、経営学入門の担当を解除。安田賢憲准教授（兼任）を担当に追加。
- ・高田裕美講師（兼任）が都合により、心理学の担当を解除。心理学は他に担当者が3名いるため支障なし。
- ・中田大吾准教授（兼任）が都合により、統計学入門の担当を解除。統計学入門は他に担当者が5名いるため支障なし。
- ・遠藤美純講師（兼任）が都合により、コンピュータ・リテラシー、プログラミングの担当を解除。辞退に伴い、コンピュータ・リテラシーは吉田勝郎講師（兼任）を追加。プログラミングは他に担当者が2名いるため、支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、共通総合演習のスクーリング開講数を増やしたことにより、堂前豊准教授（兼任）、櫻井啓雅講師（兼任）、宗像武彦講師（兼任）が追加で担当。山崎勝准教授（兼任）の担当を解除。
- ・前田幸男准教授（兼任）が平成31年4月より教授に昇任。
- ・山田隆司准教授（兼任）が平成31年4月より教授に昇任。
- ・前川健一准教授（兼任）が平成31年4月より教授に昇任。
- ・山本美紀助教（兼任）が平成31年4月より講師（兼任）に変更。
- ・宮原千咲助教（兼任）が都合により、日本語コミュニケーション論の担当を解除。遠藤李華講師（兼任）を担当に追加。
- ・馬場茂樹講師（兼任）が都合により、家族の社会学の担当を解除。佐藤順子講師（兼任）を担当に追加。
- ・教育課程の充実を図るため、大上忠幸講師（兼任）を追加し、日本語文法IIを担当。

【令和2年度】

- ・坂本幹雄教授（兼任）が昨年度、担当を解除した自立学習入門の担当に追加。
- ・中山雅司教授（兼任）が都合により、創価教育論の担当を解除。創価教育論は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・宮崎さやか講師（兼任）が都合により、英語II Bの担当を解除。英語II Bは他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・デルバート・カーン講師（兼任）、ステイブン・モーガン講師（兼任）が都合により、英会話Iの担当を解除。レイモンド・ヤスタ講師（兼任）、サミュエル・ブルース講師（兼任）を追加。
- ・デルバート・カーン講師（兼任）が都合により、英会話IIの担当を解除。レイモンド・ヤスタ講師（兼任）、ジョナサン・ポリック講師（兼任）を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、横山ゆか講師（兼任）を追加し、ドイツ語A、ドイツ語Bを担当。
- ・教育課程の充実を図るため、李燕教授（兼任）を追加し、中国語Iを担当。
- ・教育課程の充実を図るため、ヤッシン・サベック講師（兼任）を追加し、スペイン語Bを担当。
- ・教育課程の充実を図るため、平林香織教授（兼任）を追加し、文学Aを担当。
- ・教育課程の充実を図るため、阿部隆一講師（兼任）を追加し、数学基礎を担当。
- ・天谷永教授（兼任）が都合により、統計学入門の担当を解除。佐久間貴之准教授（兼任）を担当に追加。
- ・教育課程の充実を図るため、黄國光講師（兼任）をコンピュータ・リテラシーの担当に追加。
- ・横井隆志講師（兼任）が都合により、プログラミングの担当を解除。田中啓子講師（兼任）を担当に追加。
- ・本間佳子講師（兼任）が都合により、総合科目Aの担当を解除。栗原淑江講師（兼任）を担当に追加。
- ・山崎勝准教授（兼任）が都合により、共通総合演習の担当を解除。共通総合演習は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、吉良貴之講師（兼任）を追加し、人間学、哲学概論を担当。
- ・大上忠幸講師（兼任）が都合により、異文化コミュニケーション、対照言語学の担当を解除。異文化コミュニケーションは松井一美講師（兼任）を担当に追加。対照言語学は守屋三千代教授（専任）が担当、令和元年12月教員審査済。
- ・教育課程の充実を図るため、井上敬子講師（兼任）を日本語文法Iの担当を追加。
- ・蝶名林亮准教授の職位変更。令和元年12月教員審査済。

【令和3年度】

- ・坂井孝一教授（専任）が本人の負担軽減のため、歴史の担当を解除。歴史は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・小林正博講師（兼任）が都合により、歴史の担当を解除。歴史は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・渋谷明子教授（専任）が都合により、メディアと社会心理の担当を解除。後任として倉橋耕平准教授（専任）が担当（令和3年2月教員審査済）。
- ・清水由朗教授（兼任）が都合により、美術の担当を解除。堀館秀一講師（兼任）を担当に追加。
- ・藤田尚則教授（兼任）が死去のため、日本国憲法の担当を解除。日本国憲法は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・坂本幹雄教授（兼任）が本人の負担軽減のため、数学基礎の担当を解除。数学基礎は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・浅井学教授（兼任）、碓井健寛教授（兼任）が都合により、統計学入門の担当を解除。天谷永教授（兼任）を担当に追加。
- ・ジョナサン ポリック講師（兼任）、サミュエル ブルース講師（兼任）が都合により、英会話Iの担当を解除。英会話Iは他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・ジョナサン ポリック講師（兼任）、サミュエル ブルース講師（兼任）、アレクサンダー チャーンサイド講師（兼任）が都合により、英会話IIの担当を解除。英会話IIは他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・李燕講師（兼任）が都合により、中国語Iの担当を解除。中国語Iは他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・ト マア マリア イナ講師（兼任）が都合により、スペイン語Bの担当を解除。スペイン語Bは他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・白恩正講師（兼任）が都合により、ハンブルグIIの担当を解除。ハンブルグIIは他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・栗原淑江講師（兼任）が都合により、総合科目Aの担当を解除。池本優子講師（兼任）を担当に追加。
- ・永本哲也講師（兼任）が都合により、歴史学への招待の担当を解除。早川朝子講師（兼任）を担当に追加。
- ・永本哲也講師（兼任）が都合により、西洋文化史の担当を解除。早川朝子講師（兼任）を担当に追加。
- ・永本哲也講師（兼任）が都合により、歴史学概論の担当を解除。野村啓介講師（兼任）を担当に追加。
- ・教育課程の充実を図るため、大上忠幸講師（兼任）を追加し、対照言語学を担当。
- ・教育課程の充実を図るため、東田明希子講師（兼任）を追加し、日本語教材研究Iを担当。
- ・教育課程の充実を図るため、東田明希子講師（兼任）を追加し、日本語教育実習を担当。
- ・教育課程の充実を図るため、岩木秀樹講師（兼任）を追加し、中東文化論Iを担当。
- ・教育課程の充実を図るため、沖廣一講師（兼任）、大上忠幸講師（兼任）、松井一美講師（兼任）、山本美紀講師（兼任）が、卒業研究B（異文化コミュニケーション日本語）を追加で担当。
- ・教育課程の充実を図るため、大西克明准教授（兼任）、春日潤一講師（兼任）、古川洋平講師（兼任）、柳沼正広講師（兼任）が、卒業研究B（哲学・歴史学）を追加で担当。
- ・富岡比呂子准教授（兼任）が令和3年4月より教授に昇任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
21	9
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
22	5	1	0	28	0	24	4	0	0	28	0
(22)	(5)	(1)	0	(28)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
24	4	0	0	28	0	24	4	0	0	28	0
[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	0	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	0

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{28}{28} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1											
2											
				合計 (D)		後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	渋谷 明子	R2.3	選択	メディアと社会心理	①	R3.3.31付け一身上の都合のため辞任 (R3)				
				合計 (F)		後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		1	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{28} = 3.57\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1							
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年度)	平均入学定員超過率が0.39倍と著しく低い が、その原因分析の状 況及び今後の改善策等 について具体的に説明 すること。	・令和2年度平均入学定員超 過率 文学部人間学科（通信教育 課程）0.39	文学部人間学科（通信教育 課程）は、開設初年度の平 成30年度には573名の入学者 数であったが、開設2年目、 3年目の入学者数は、新型コ ロナウイルス感染拡大の影 響などもあり、想定より減 少した。開設3年目の令和2 年度においては、3年次編入 学の受入が開始となり、そ のことも広く周知し、学生 募集の増加に努めた結果、 409名の3年次編入学者を獲 得した。それにより、収容 定員数に対する学生の割合 を改善している（2020年度 の編入学を含めた収容定員 数2,350名に対し、1,271名 （54.1%））。 また、令和2年度以降、新型 コロナウイルス感染拡大の 対策として、インターネット を利用したWEB科目試験の 受験やリアルタイム授業の 受講を可能にしたことによ り、地方在住者でもさらなる 利便性の向上とコロナ禍 においても安全に学修を行 える環境を整備した。それ らを広く訴求することによ り、今まで学修が難しい環 境にあった方や在宅での学 びや資格取得を検討されて いる方なども対象とした、 新たな生活環境・学修環境 に即した学生募集の取り組 みを行い、入学者数の増加 に努めている。 また、日本語教師資格を修 得できる数少ない通信制大 学の学部としても、その点 を広く周知し、入学者数の 増加に努めていく。
	指摘事項 (改善)	履行中	

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 人間学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【通信教育実施方法説明書】 開講科目の印刷授業、面接授業、メディア授業での実施</p>	<p>申請時の【通信教育実施方法説明書】にて計画していた面接授業のうち、地方スクーリングの一部及び秋期スクーリングを同時双方向のオンライン授業とする。面接授業の開講は、年度内で複数回実施しているため、問題はなく、学生の受講機会の確保を最優先にしていく方向である。 また、年7回、各都道府県の会場で実施予定であった科目試験について、年6回の実施とし、そのうち3回を自宅でも受験できるWEB試験として実施する予定である。履修科目数からは十分な受験機会を設けており、問題はない。なお、メディア授業の実施にあたっては、各時間開始時に顔認証による本人認証を行い、単位認定のための試験時には試験中の顔確認を行う予定である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>職員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実を図るために、ファカルティ及びスタッフ・ディベロップメント委員会（以下「FD・SD委員会」という。）を置いている。</p> <p>○創価大学ファカルティ及びスタッフ・ディベロップメント委員会規程 平成20年4月1日規程第344号 改正 平成22年3月27日規程第53号 平成23年9月13日規程第11号 平成26年12月20日規程第17号 平成30年5月21日規程第5号 平成31年3月22日規程第63号 令和2年3月26日規程第84号</p> <p>創価大学ファカルティ及びスタッフ・ディベロップメント委員会規程</p> <p>（趣旨）</p> <p>第1条 本学に、職員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実を図るために、ファカルティ及びスタッフ・ディベロップメント委員会（以下「FD・SD委員会」という。）を置く。</p> <p>2 本規程における職員には、教育職員、事務職員、技術職員等及び学長等の大学執行部が含まれる。</p> <p>3 ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）とは、大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究のことをいう。</p> <p>4 スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）とは、大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修のことをいう。ただし、第3項に該当する研修は除く。</p> <p>5 第4項のうち、事務職員に関するSDについては、別途、「学校法人創価大学職員研修規程」に定める。</p> <p>（審議事項）</p> <p>第2条 FD・SD委員会は、次の各号に掲げるFD及びSDの改善、充実の方策に関する事項を審議する。</p> <p>(1) 授業の内容及び方法の改善を図る方策に関する事項</p> <p>(2) 大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を行う上で必要となる様々な知識等の習得、向上を図る方策に関する事項</p> <p>(3) 研修会及び講習会の開催に関する事項</p> <p>(4) 学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関する事項</p> <p>(5) 教育・学習に係る各種ポートフォリオに関する事項</p> <p>(6) 大学改革推進等補助金による事業の継続推進に関する事項</p> <p>(7) その他、FD・SD委員会が必要と認めた事項</p>
--

(構成)

第3条 FD・SD委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長の指名する副学長または副学長補
- (2) 教務部長及び教務部副部長
- (3) 各学部長
- (4) 学士課程教育機構長及び副機構長
- (5) 総合学習支援センター長
- (6) 教育・学習支援センター長
- (7) 教務部事務部長
- (8) 学事部長
- (9) 学長が委嘱する教職員若干名

2 委員長は、前項第1号の委員をあてる。委員長に支障のあるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(任期)

第4条 委員の任期は、職務上委員となるものを除き2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会議は、委員長が必要と認めるときに招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決定する。

(専門委員会)

第6条 FD・SD委員会は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員長及び委員は、FD・SD委員会の議を経て、学長が任命する。

3 専門委員会の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(事務)

第7条 FD・SD委員会の事務は、総合学習支援オフィス学習支援課が担当する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月27日規程第53号）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年9月13日規程第11号）

この規程は、平成23年9月13日から施行し、平成23年9月1日に遡及して適用する。

附 則（平成26年12月20日規程第17号）

この規程は、平成26年12月20日から施行する。

附 則（平成30年5月21日規程第5号）

この規程は、平成30年5月21日から施行する。

附 則（平成31年3月22日規程第63号）

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月26日規程第84号）

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年間3回定期的に開催し、全学部長を含む委員15～16名は基本的に全員参加している。

c 委員会の審議事項等

(1) 授業の内容及び方法の改善を図る方策に関する事項、(2) 大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を行う上で必要となる様々な知識等の習得、向上を図る方策に関する事項、(3) 研修会及び講習会の開催に関する事項、(4) 学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関する事項、(5) 教育・学習に係る各種ポートフォリオに関する事項、(6) 大学改革推進等補助金による事業の継続推進に関する事項、(7) その他、FD・SD委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学的FD・SDの取組目標の立案、取り組み、結果及び効果の分析
- ・教授法等に係るFD・SDセミナー（年8～9回）及びFD・SDフォーラム（年1回）の開催
- ・新任教員研修（年2回）の開催
- ・その他、大学・学部主催のFD・SDセミナーや勉強会の掌握
- ・コンソーシアムや大学間連携による他大学との連携事業

b 実施方法

FD・SD委員会にて協議・検討した計画に基づき、教育・学習支援センター（GETL）などの関連部門がFD・SDに係るセミナー・研修等を運営する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教授法等に係るFD・SDセミナー、オンライン授業向け勉強会、及びFD・SDフォーラム、新任教員研修、その他、大学・学部主催の各種FD・SDセミナーや勉強会等を開催し、9割以上の教員が、1回以上はいずれかのイベントに参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会やセミナーを通じ、ラーニング・アウトカムズの達成点検・到達目標の測定を意識した授業展開が促進され、LTD等のALの定着化が進展している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（各セメスター最終授業にて）、原則的に全教員（非常勤を含む）の専門科目・共通科目において実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目のアンケート集計結果を、WEB上で公開している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月の文学部開設後、令和2年度からの3年次編入学の募集により、令和2年度は600名を超える出願者があったが、令和3年度においても540名を超える出願者があった。今後も引き続き、志願者確保を目指し、学部開設の目的である真の教養を兼ね備えた「創造的人間」の育成・輩出を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年5月1日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（令和3年5月）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に大学基準協会による評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。